

各位

2022.12.12

愛知中小企業家同友会
報道部長 林 康雄
労務労働委員長 古田 伸祐

「2022 年冬の賞与アンケート」(1,164 社回答) 結果のご案内

いつもお世話になります。

愛知中小企業家同友会では中小企業の冬の賞与に関するアンケートを行いました。企業ですぐに活用できるよう、業種と正社員数でクロス集計(平均賞与支給額、平均賞与月数)した集計もあります。ご参照頂ければ幸いです。

※お問い合わせ等は事務局までご連絡ください。

- テーマ:「2022 冬の賞与アンケート」
- 主 催:愛知中小企業家同友会
- 期 間:11 月 21 日(月)～11 月 30 日(水)
- 回答数:1,164 社(建設:218 社、製造:223 社、流通・商業:293 社、サービス:430 社)

☆平均賞与 (※注 カッコ内は 2021 年冬調査との差異)

◎全体	325,875 円 (▲17,761 円)
◎建設業	322,262 円 (▲36,768 円)
◎製造業	319,277 円 (▲20,646 円)
◎流通・商業	326,990 円 (▲2,236 円)
◎サービス業	333,525 円 (▲14,094 円)

※上記は、支給する(支給した)と回答し、
平均支給額を記入した企業のみの平均賞与額。

【参考】平均支給額

(「支給しない」回答者含)

(※注 カッコ内は 2021 年冬調査との差異)

◎全体	252,656 円 (+1,981 円)
◎建設業	269,862 円 (▲11,306 円)
◎製造業	294,011 円 (▲3,422 円)
◎流通・商業	223,730 円 (▲6,728 円)
◎サービス業	237,993 円 (+11,490 円)

☆特徴

1. 冬の賞与を支給する(支給した)企業は、昨対比で 3.1 ポイント増の「71.8%」に増加。
 - ・ 昨年の 2021 冬の賞与アンケートで「賞与を支給する(支給した)」企業の割合が 68.7% だったのに対し、今回は 3.1 ポイント増の「71.8%」に増加。業種別に見ると、建設業は 5.7 ポイント増の 73.9%、製造業は 8.0 ポイント増の 87.1%、**流通・商業は 2.3 ポイント減**の 65.0%、サービス業は 1.2 ポイント増の 65.5%となった。全業種のなかで、今回は流通・商業のみが昨対比で支給する(支給した)割合が減少した。
2. 昨年同時期の賞与調査と比較して、全業種で「平均賞与額」が減少。
 - ・ 昨年の 2021 冬の賞与アンケートと比較して、業種別に「平均賞与額の減少幅」を見ると、建設業の「▲36,768 円」が最大幅の減少額となった。それに続いて、製造業は「▲20,646 円」、サービス業は「▲14,094 円」、流通・商業は「▲2,236 円」の減少幅となった。
3. 賞与支給月数は、全業種で、「基本給 1 カ月～2 カ月未満」が最多に。
4. 支給金額帯は、全体では「30～40 万円未満」が最多に。
 - ・ 業種別に支給金額帯の最多を見ると、建設業は「30～40 万円未満」、製造業は「20～30 万円未満」と「30～40 万円未満」、流通・商業は「30～40 万円未満」、サービス業は「30～40 万円未満」となった。

【概要】

昨年同時期の調査結果と比較して、冬の賞与を「支給する（支給した）」企業の割合を見ますと、全体（全業種の平均）で 3.1 ポイント増の 71.8%となりました。業種別に見ると、建設業は 5.7 ポイント増の 73.9%に、製造業は 8.0 ポイント増の 87.1%に、流通・商業は 2.3 ポイント減の 65.0%に、サービス業は 1.2 ポイント増の 65.5%となりました。全業種のなかで唯一、流通・商業のみが昨対比で減少する結果となりました。2020 年の新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前から、地域経済を支える中小企業の現場では、資金的にも人材的にも非常に苦しい状況が続いています。

その中小企業の厳しい現状が、平均賞与額にもよく表れています。今年の冬の平均賞与額を見ますと、昨年同時期の調査と比較して、全体（全業種の平均）で 17,761 円の減少となりました。業種別に見ると、建設業は 36,768 円減少、製造業は 20,646 円減少、流通・商業は 2,236 円減少、サービス業は 14,094 円減少となり、全業種で平均賞与額が減少したことが分かります。業種ごとの減少幅を比較しますと、建設業が最大幅の減少額となり、流通・商業が最小幅の減少額となりました。一方で、賞与支給月数を見ますと、業種問わず、「1 カ月～2 カ月未満」の回答が最多となり、サービス業を除いた業種では、その次に「1 カ月未満」が多いという結果となりました。

昨年同月期と比較して、「正社員数」別に今年の「平均賞与額」の増減を見ますと、全体（全業種の平均）では、「1～4 人以下」は 33,508 円減額、「5～9 人」は 12,894 円増額、「10～19 人」は 30,071 円減額、「20～29 人」は 41,728 円減額、「30～49 人」は 3,401 円減額、「50～99 人」は 20,352 円増額、「100 人以上」は 19,367 円減額となりました。正社員数が「5～9 人以下」と「50～99 人」の中小企業は平均賞与額を増やした一方で、それ以外の正社員数「1～4 人以下」・「10～19 人」・「20～29 人」・「30～49 人」・「100 人以上」の中小企業は平均賞与額を減らしました。

また、非正規社員に対する冬の賞与について、「支給する（支給した）」と回答した企業は、全体（全業種の平均）で 43.8%となりました。これは昨年同月期の 37.5%と比較して、6.3 ポイント増加となっています。また、昨年同月期と比較して業種別に「支給する（支給した）」企業の割合を見ますと、建設業は 40.4%から 33.1%と 7.3 ポイント減少、製造業は 57.4%から 59.2%と 1.8 ポイント増加、流通・商業は 36.6%から 42.0%と 5.4 ポイント増加、サービス業は 26.8%から 38.2%と 11.4 ポイント増加しました。建設業のみが、非正規社員に対する冬の賞与支給する（支給した）割合を減らしました。最も高い割合の製造業 59.2%と、最も低い割合の建設業は 33.1%の間には、26.1 ポイントもの大きな差が開きました。

記述回答では、「支給する（支給した）」と回答した企業のなかで、「仕入れの高騰で利益を圧迫しています。賞与は、何とか前年度より少しでも上げるようにしました」（建設業）、「経営状況が厳しくても、継続支給しなければならないなと感じています」（製造業）など、社員の生活安定のために、資金的余裕のない中で賞与支給に踏み切った声が多数ありました。その一方で、「支給しない」と回答した企業では、「利益が出れば出したいが、現状では難しい」（サービス業）などの、中小企業の悲痛な声が聞こえています。

2022 夏の賞与調査結果と同様に、今回の調査結果でも、人材確保のために限られた資金のなかで賞与支給に踏み切る企業と、そうしたくても資金的余裕が無くてできなかった企業とに大きく分かれました。過去に類を見ない円安が続いているなかで、いつまで原材料費が高止まりし続けるのかも予測がつかえません。そして、その原材料費の高騰分を価格転嫁できない中小企業がますます増えていくと予想されるなか、いかに企業経営を安定化していくかの努力が続いています。

以上

2022 年 冬の賞与アンケート調査項目

いつもお世話になります。

この度、中小企業の賞与支給状況を明らかにして、中小企業の実態や会員の皆様の今後の参考資料とするため、冬の賞与に関する調査を行います。ご協力下さい。

●主催：報道部、労務労働委員会

●期間：11 月 21 日（月）～30 日（水）

●対象：全会員

Q 1、貴社に従業員（パート・アルバイトは除く）はいますか。

(1)いる (2)いない

Q 2、貴社の正社員数（経営者は除く）をお答え下さい。

(1)1～4 人 (2)5～9 人 (3)10～19 人 (4)20～29 人

(5)30～49 人 (6)50～99 人 (7)100 人以上

Q 3、貴社の正社員の平均年齢をお答え下さい。

(1)29 歳以下 (2)30～39 歳

(3)40～49 歳 (4)50～59 歳 (5)60 歳以上

Q 4、貴社のパート・アルバイトなど非正社員や派遣・請負社員の人数をお答え下さい。

(1)1～4 人 (2)5～9 人 (3)10～19 人 (4)20～29 人

(5)30～49 人 (6)50～99 人 (7)100 人以上 (8)なし

Q 5、今年の夏の賞与（役員賞与は除く）を正社員に支給しましたか。

(1)支給した (2)支給しなかった

Q 6、今年の夏の賞与（役員賞与は除く）の 1 人平均賞与支給額（数字のみ記入）をご記入下さい。

（全正社員の賞与支給総額÷正社員数、千円未満を四捨五入）記入例：30 万 5 千円の場合→305000

Q 7、今年の冬の賞与（役員賞与は除く）を正社員に支給しますか。（既に支給された方も含む）

(1) 支給する（支給した） (2) 支給しない (3)検討中または未定

Q 8、賞与支給方法は、どのようにして決めますか。

(1)給与連動式（基本給などに対して支給率を決めたもの）

(2)業績連動式（組織の業績や個人の業績に応じたもの）

(3)全員一律の金額（賞与の全額又は一部）

(4)労使交渉（社員との話し合いを含む）

(5)その他

Q 9、賞与額の主な計算基準をお答え下さい。

(1) 定額金額 (2) ○カ月計算 (3) 査定評価 (4) その他

Q 10、1人平均賞与支給額（数字のみ記入）をご記入下さい。

（全正社員の賞与支給総額÷正社員数、千円未満を四捨五入）記入例：30万5千円の場合→305000

Q 11、1人平均賞与支給月数をお答え下さい。（1人平均賞与支給額÷1人平均所定内賃金）

※所定内賃金は残業代を含まず。

(1) 1カ月未満 (2) 1～2カ月未満 (3) 2～3カ月未満 (4) 3～4カ月未満 (5) 4カ月以上

Q 12、1人平均賞与支給額は、昨年冬の金額と比べてどうなりましたか。

(1) 減少した (2) 昨年並み (3) 増加した

Q 13、賞与の支給（予定）基準日はいつ頃ですか。

(1) 10月以前 (2) 11月上旬（1日～15日） (3) 11月下旬（16日～30日）

(4) 12月上旬（1日～15日） (5) 12月下旬（16日～31日） (6) 1月以降 (7) その他

Q 14、パートやアルバイトなど非正社員にも、今年の冬の賞与を支給しますか。

（既に支給された方も含む）

(1) 支給する（支給した） (2) 支給しない (3) 検討中または未定 (4) 対象者なし

Q 15、賞与に関して何かご意見があればお答え下さい。

以上

2016年夏～2022年冬 賞与支給額の経過比較

※賞与を支給する(支給した)と回答し、平均支給額を記入した企業のための平均賞与額。

1) 業種 × 正社員 × 平均賞与支給額 (円)

		1～4 人	5～9 人	10～19 人	20～29 人	30～49 人	50～99 人	100 人以上	総計
建設業	2022年 冬	255,487	344,250	383,500	349,222	335,000	362,500	500,000	322,262
	回答数(社)	39	24	24	9	2	4	1	103
	2022年 夏	313,429	294,368	448,205	312,600	323,500	330,000	370,000	342,631
	回答数(社)	21	19	16	5	2	2	2	67
	2021年 冬	313,042	319,853	397,941	530,000	375,000	300,000	540,000	359,030
	回答数(社)	18	19	17	3	2	3	3	65
	2021年 夏	274,635	307,588	362,867	307,769	321,667		405,000	310,770
	回答数(社)	26	17	15	3	3		2	66
	2020年 冬	237,659	302,286	378,900	425,054	450,000	292,500	450,000	320,327
	回答数(社)	22	35	25	8	1	4	1	96
	2020年 夏	268,742	337,133	353,188	390,000	359,600	400,000	330,000	326,979
	回答数(社)	22	30	16	5	5	1	2	81
	2019年 冬	276,000	315,941	396,250	363,750	416,667	350,000	670,000	331,061
	回答数(社)	33	34	22	5	5	2	1	102
	2019年 夏	290,526	336,093	345,167	318,000	376,667	366,500	440,000	329,340
	回答数(社)	19	27	20	5	3	3	2	79
	2018年 冬	370,348	425,389	354,333	527,667	416,667			392,306
	回答数(社)	23	18	15	3	3			62
	2018年 夏	254,971	329,476	426,087	381,500	378,750	548,000	352,000	336,411
	回答数(社)	34	21	23	6	8	1	2	95
	2017年 冬	325,069	350,625	306,923	226,667	383,333		490,000	328,415
	回答数(社)	29	16	13	3	3		1	65
	2017年 夏	246,477	302,424	389,278	276,727	365,000	300,000		302,175
	回答数(社)	30	33	18	11	6	1		99
	2016年 冬	252,122	338,400	371,848	432,200	352,000	409,000	600,000	332,264
	回答数(社)	41	50	33	10	5	4	1	144
	2016年 夏	295,652	302,667	351,583	392,000	291,600	481,250		330,539
	回答数(社)	23	15	24	5	5	4		76
製造業	2022年 冬	305,000	334,417	275,721	269,682	369,563	420,154	348,521	319,277
	回答数(社)	19	24	29	22	16	13	5	128
	2022年 夏	215,625	293,138	302,118	353,844	324,343	448,938	402,000	321,828
	回答数(社)	16	29	23	16	15	16	5	120
	2021年 冬	311,083	259,867	396,000	284,500	349,538	380,250	447,500	339,923
	回答数(社)	18	15	24	12	13	12	4	98
	2021年 夏	255,045	275,684	292,143	284,176	347,357	435,632	331,833	311,928
	回答数(社)	22	19	28	17	14	19	6	125
	2020年 冬	265,444	271,753	330,258	307,263	292,844	382,308	351,468	308,524
	回答数(社)	18	22	31	19	18	13	6	127
	2020年 夏	263,633	296,549	282,325	304,312	269,875	372,776	375,500	298,870
	回答数(社)	15	26	44	22	23	19	6	155
	2019年 冬	236,444	272,026	332,031	315,375	333,238	341,545	340,400	301,250
	回答数(社)	26	21	30	12	17	8	1	115
	2019年 夏	347,460	305,357	280,470	316,000	288,375	314,340	416,167	311,448
	回答数(社)	21	28	31	19	17	10	7	133
	2018年 冬	345,833	314,962	331,680	376,762	347,789	340,769	545,800	349,669
	回答数(社)	12	26	25	21	19	13	5	121
	2018年 夏	309,737	338,000	278,464	345,009	297,000	438,583	515,667	333,913
	回答数(社)	19	30	28	22	19	12	6	136
	2017年 冬	291,333	324,318	358,633	311,647	413,636	353,403	555,000	347,449
	回答数(社)	15	22	30	17	11	11	4	110
	2017年 夏	288,900	317,032	383,889	273,105	287,708	367,636	490,800	325,277
	回答数(社)	20	31	27	19	24	11	5	137
	2016年 冬	294,063	297,026	350,650	304,313	323,536	312,769	456,250	322,102
	回答数(社)	32	38	50	32	28	13	8	201
	2016年 夏	315,667	313,000	330,297	348,813	258,371	309,258	401,333	319,634
	回答数(社)	15	19	37	16	17	12	6	122
流通・商業	2022年 冬	293,577	301,368	346,032	311,000	342,812	395,375	352,000	326,990
	回答数(社)	26	19	31	11	17	8	5	117
	2022年 夏	470,136	322,358	320,474	325,167	349,545	400,000	374,870	370,245
	回答数(社)	22	19	19	6	11	4	8	89
	2021年 冬	300,952	285,056	335,722	398,625	387,500	399,111	305,000	329,226
	回答数(社)	21	18	18	8	4	9	6	84
	2021年 夏	307,619	389,275	340,081	340,143	390,500	389,445	355,675	352,051
	回答数(社)	21	14	14	7	12	5	4	89
	2020年 冬	360,276	268,463	347,640	314,111	370,923	374,286	425,000	340,221
	回答数(社)	29	22	23	9	13	7	5	108
	2020年 夏	319,531	342,250	238,067	326,800	387,000	277,500	300,000	313,510
	回答数(社)	28	18	15	5	10	8	5	89
	2019年 冬	279,054	298,154	345,958	311,889	409,588	376,500	399,333	323,765
	回答数(社)	55	30	23	11	13	5	4	141
	2019年 夏	270,438	347,500	387,333	289,667	485,400	330,625	246,667	334,850
	回答数(社)	16	12	21	16	5	8	3	81
	2018年 冬	286,778	383,000	392,200	324,150	440,000	643,333		383,477
	回答数(社)	9	10	20	8	7	3		57
	2018年 夏	297,813	269,913	376,120	264,200	345,714	422,500	300,000	319,525
	回答数(社)	16	16	25	15	7	4	2	85
	2017年 冬	262,421	339,988	344,895	344,667	440,000	330,000	320,000	325,523
	回答数(社)	19	10	19	6	5	1	1	61
	2017年 夏	270,991	296,944	343,476	293,615	313,333	333,500	244,000	299,327
	回答数(社)	32	18	21	13	9	4	3	100
	2016年 冬	297,375	386,567	331,667	250,526	403,846	431,500	366,667	337,971
	回答数(社)	24	30	22	19	13	4	3	115
	2016年 夏	243,318	350,889	366,750	298,300	379,893	233,000	307,500	325,098
	回答数(社)	11	18	16	10	7	3	4	69

2016年夏～2022年冬 賞与支給額の経過比較

※賞与を支給する(支給した)と回答し、平均支給額を記入した企業のための平均賞与額。

1) 業種 × 正社員 × 平均賞与支給額(円)

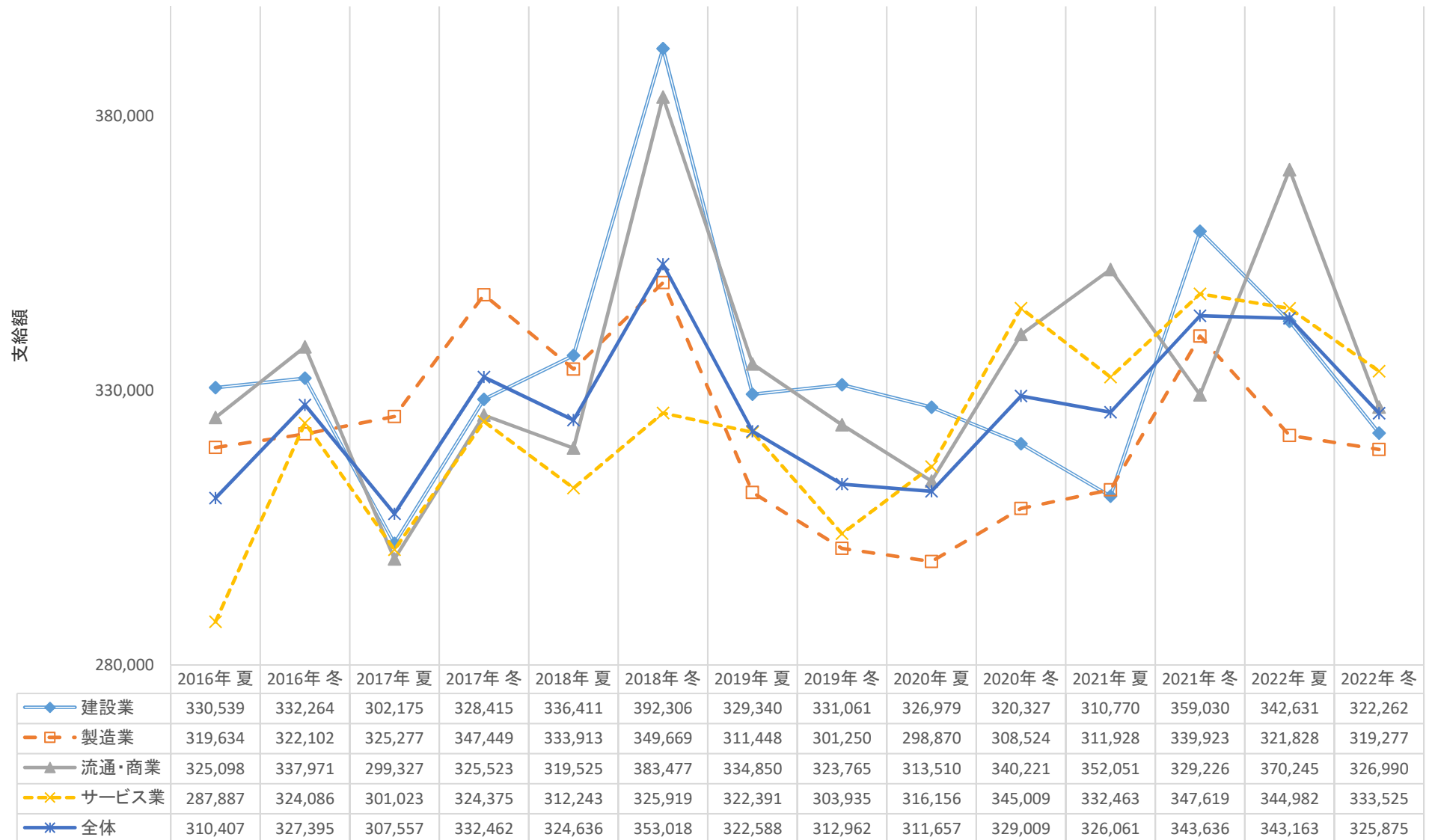
		1～4 人	5～9 人	10～19 人	20～29 人	30～49 人	50～99 人	100 人以上	総計
サービス業	2022年 冬	335, 215	325, 037	306, 208	428, 167	360, 143	321, 714	386, 667	333, 525
	回答数(社)	62	33	24	6	7	7	3	142
	2022年 夏	350, 554	286, 138	373, 067	404, 222	257, 143	470, 333	300, 000	344, 982
	回答数(社)	42	21	15	9	7	6	2	102
	2021年 冬	365, 750	352, 333	317, 116	354, 190	354, 833	315, 167	323, 333	347, 619
	回答数(社)	54	33	32	10	6	6	3	144
	2021年 夏	349, 073	280, 364	303, 382	448, 667	312, 556	424, 143	311, 500	332, 463
	回答数(社)	48	22	25	6	9	7	4	135
	2020年 冬	348, 146	296, 371	298, 056	577, 667	440, 778	255, 000	333, 540	345, 009
	回答数(社)	54	42	18	9	9	2	5	139
	2020年 夏	316, 553	270, 769	325, 736	313, 556	319, 500	441, 333	357, 000	316, 156
	回答数(社)	47	26	25	10	10	6	4	128
	2019年 冬	277, 410	304, 410	278, 831	429, 333	419, 000	306, 500	350, 000	303, 935
	回答数(社)	90	50	21	5	8	7	2	183
	2019年 夏	317, 039	287, 139	344, 727	353, 938	245, 974	509, 667	361, 000	322, 391
	回答数(社)	52	36	23	16	10	7	4	148
	2018年 冬	313, 510	332, 244	324, 167	366, 923	336, 818	305, 000	301, 750	325, 919
	回答数(社)	51	32	24	13	11	4	4	139
	2018年 夏	281, 803	304, 045	356, 534	330, 857	291, 125	356, 000	321, 300	312, 243
	回答数(社)	61	22	32	14	8	10	10	157
	2017年 冬	295, 289	348, 313	364, 183	272, 556	411, 209	361, 400	240, 000	324, 375
	回答数(社)	45	26	24	9	5	5	5	119
	2017年 夏	272, 492	291, 206	308, 355	333, 249	408, 750	349, 444	350, 700	301, 023
	回答数(社)	61	34	31	15	4	9	10	164
	2016年 冬	275, 573	318, 543	349, 457	415, 130	374, 167	291, 175	452, 333	324, 086
	回答数(社)	89	70	46	23	6	12	12	258
	2016年 夏	265, 609	286, 797	269, 448	315, 095	318, 164	301, 909	385, 975	287, 887
	回答数(社)	46	37	34	21	6	11	8	163
総計	2022年 冬	302, 571	327, 402	326, 629	313, 875	355, 519	385, 219	368, 758	325, 875
	回答数(社)	146	100	108	48	42	32	14	490
	2022年 夏	347, 507	298, 042	353, 493	355, 931	318, 775	438, 036	373, 468	343, 163
	回答数(社)	101	88	73	36	35	28	17	378
	2021年 冬	336, 079	314, 508	356, 700	355, 603	358, 920	364, 867	388, 125	343, 636
	回答数(社)	111	85	91	33	25	30	16	391
	2021年 夏	307, 410	306, 734	316, 691	328, 100	350, 711	425, 588	341, 856	326, 061
	回答数(社)	117	72	82	33	38	31	16	121
	2020年 冬	319, 142	288, 532	340, 941	383, 654	353, 907	356, 538	373, 618	329, 009
	回答数(社)	123	121	97	45	41	26	17	470
	2020年 夏	300, 819	310, 248	297, 877	319, 391	313, 961	363, 257	343, 588	311, 657
	回答数(社)	112	100	100	42	48	34	17	453
	2019年 冬	271, 357	298, 116	334, 803	346, 704	382, 426	342, 103	390, 571	312, 962
	回答数(社)	204	135	96	33	43	22	8	541
	2019年 夏	311, 333	312, 448	332, 887	320, 036	312, 669	368, 438	366, 154	322, 588
	回答数(社)	108	103	95	56	35	28	16	441
	2018年 冬	328, 821	352, 416	347, 988	374, 627	366, 075	379, 000	437, 333	353, 018
	回答数(社)	95	86	84	45	40	20	9	379
	2018年 夏	280, 838	315, 355	355, 640	324, 109	319, 571	409, 667	380, 550	324, 636
	回答数(社)	130	89	108	57	42	27	20	473
	2017年 冬	296, 954	340, 554	349, 330	299, 971	414, 835	354, 378	384, 545	332, 462
	回答数(社)	108	74	86	35	24	17	11	355
	2017年 夏	268, 993	302, 190	352, 000	293, 944	315, 116	352, 920	371, 833	307, 557
	回答数(社)	143	116	97	58	43	25	18	500
	2016年 冬	276, 398	330, 330	352, 153	337, 714	352, 192	330, 973	449, 083	327, 395
	回答数(社)	186	188	151	84	52	33	24	713
	2016年 夏	278, 205	308, 028	321, 516	329, 635	297, 672	321, 870	373, 656	310, 407
	回答数(社)	95	89	111	52	35	30	18	430

2022年冬～2016年冬	1～4 人	5～9 人	10～19 人	20～29 人	30～49 人	50～99 人	100 人以上
	26,173	-2,928	-25,525	-23,839	3,327	54,246	-80,326

2022年冬～2016年冬	建設業	製造業	流通・商業	サービス業	総計
	-10,002	-2,825	-10,981	9,439	-1,519

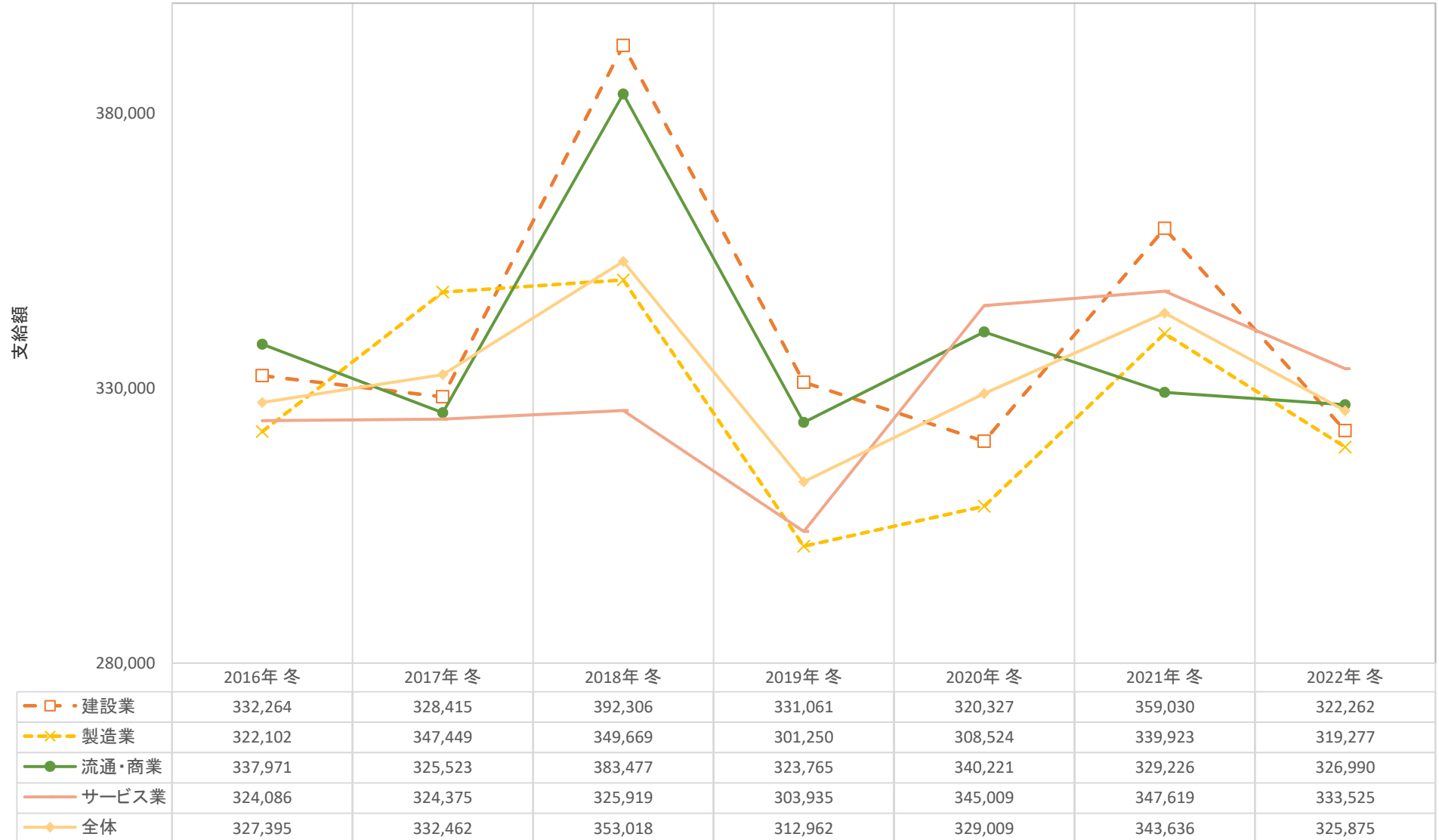
賞与支給額の変化（2016年夏以降）

※賞与を支給する（支給した）と回答し、平均支給額を記入した企業のみ平均賞与額



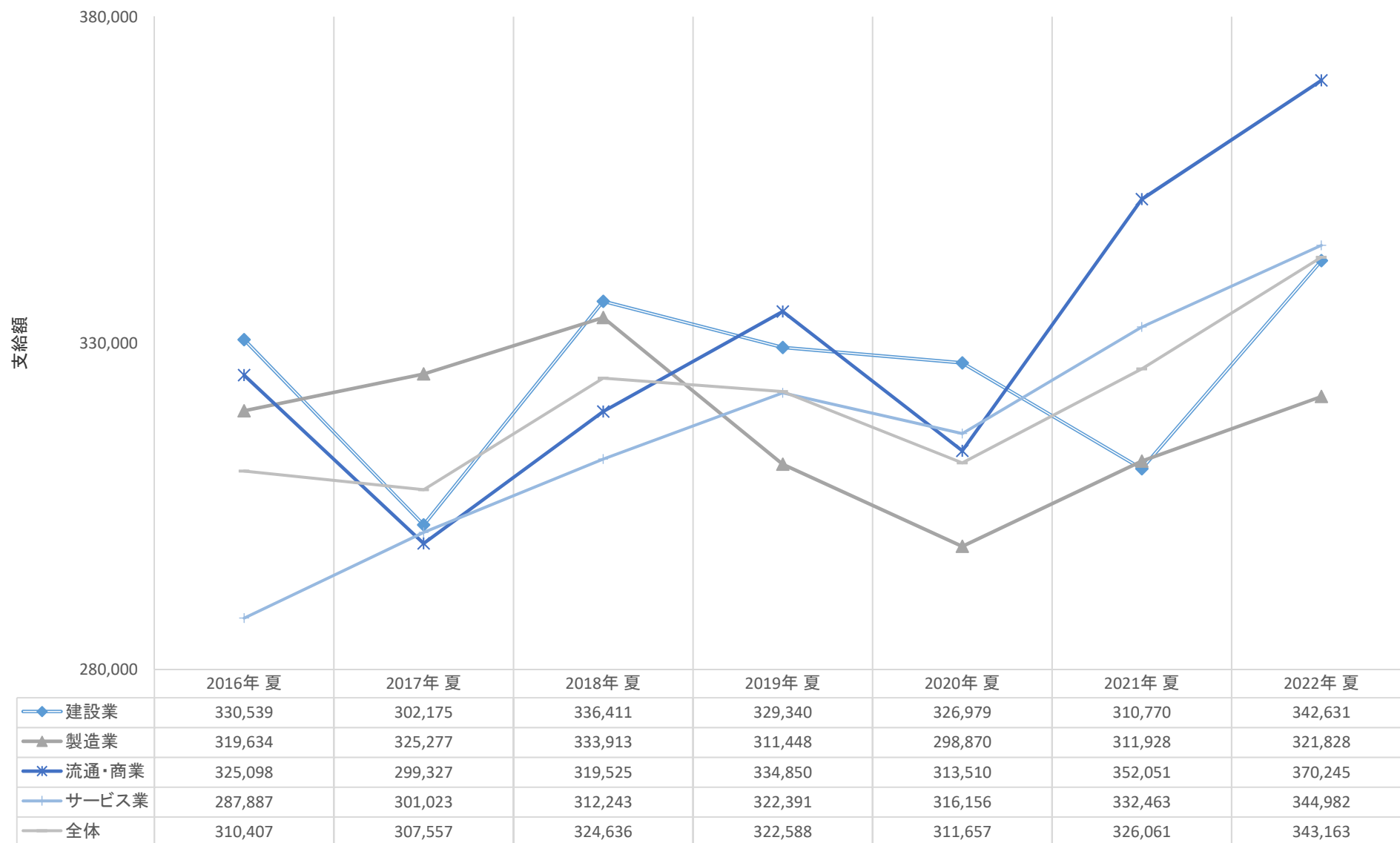
冬賞与支給額の変化（2016～2022年）

※賞与を支給する（支給した）と回答し、平均支給額を記入した企業のための平均賞与額



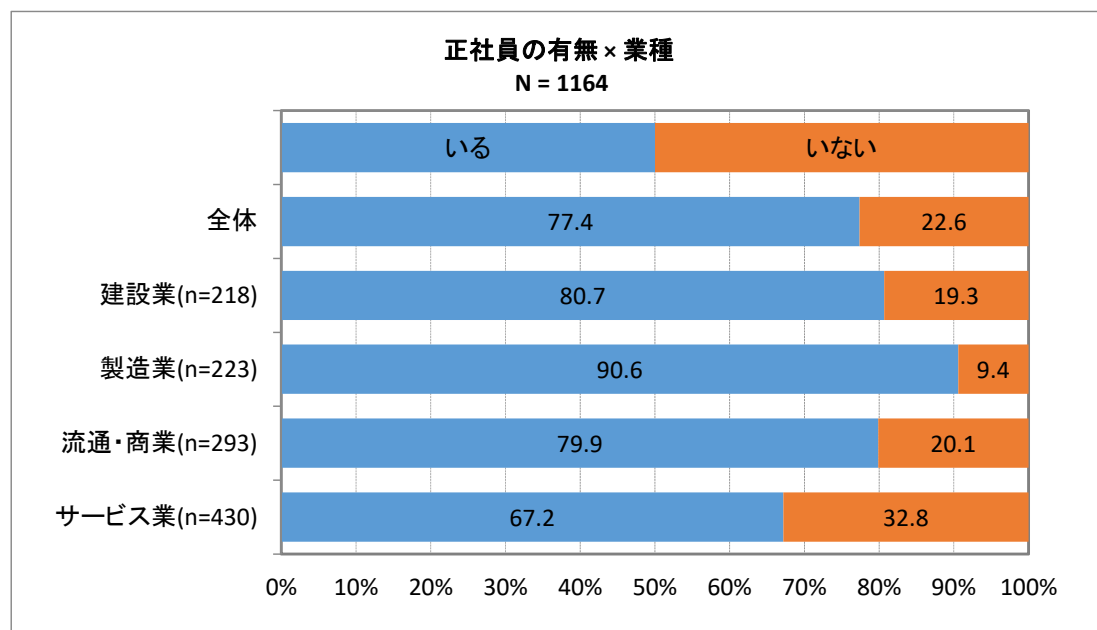
夏賞与支給額の変化（2016～2022年）

※賞与を支給する（支給した）と回答し、平均支給額を記入した企業のための平均賞与額



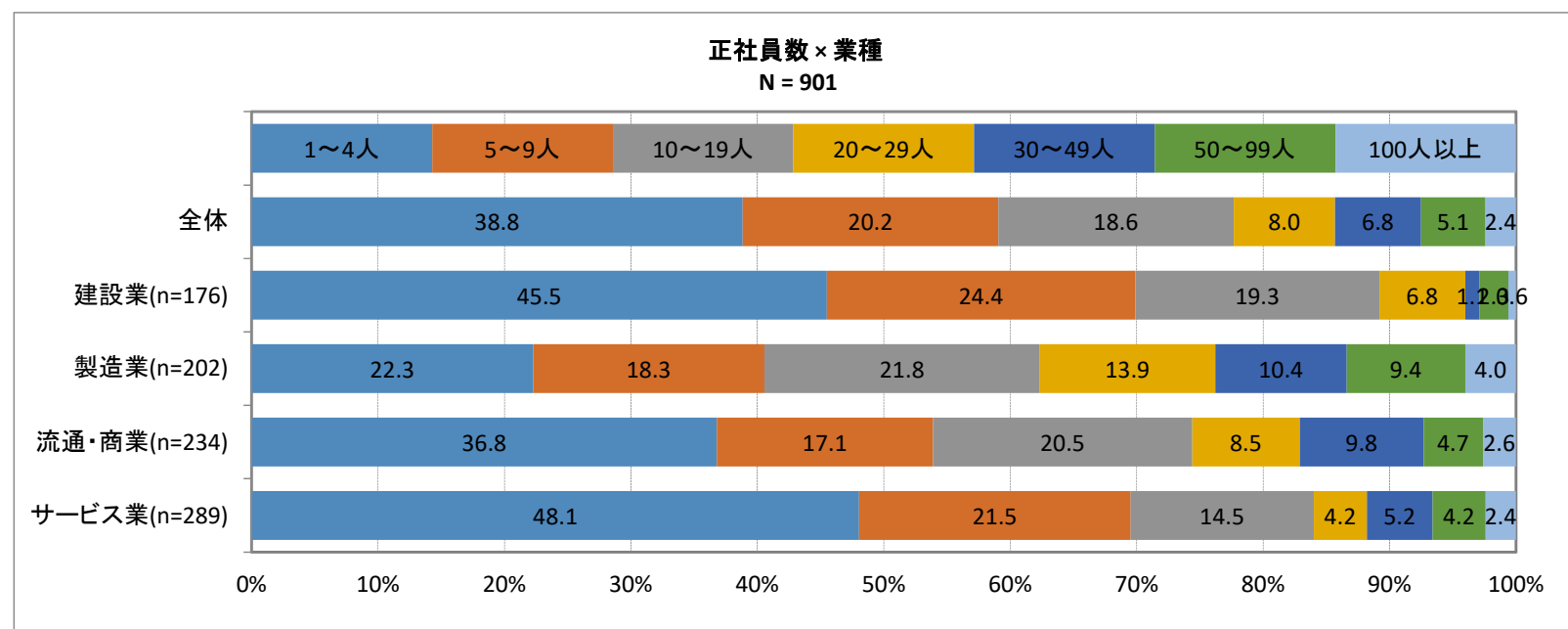
Q1、正社員の有無 × 業種

上段:度数 下段:%		正社員の有無		
		合計	いる	いない
業種	全体	1164 100.0	901 77.4	263 22.6
	建設業	218 100.0	176 80.7	42 19.3
	製造業	223 100.0	202 90.6	21 9.4
	流通・商業	293 100.0	234 79.9	59 20.1
	サービス業	430 100.0	289 67.2	141 32.8



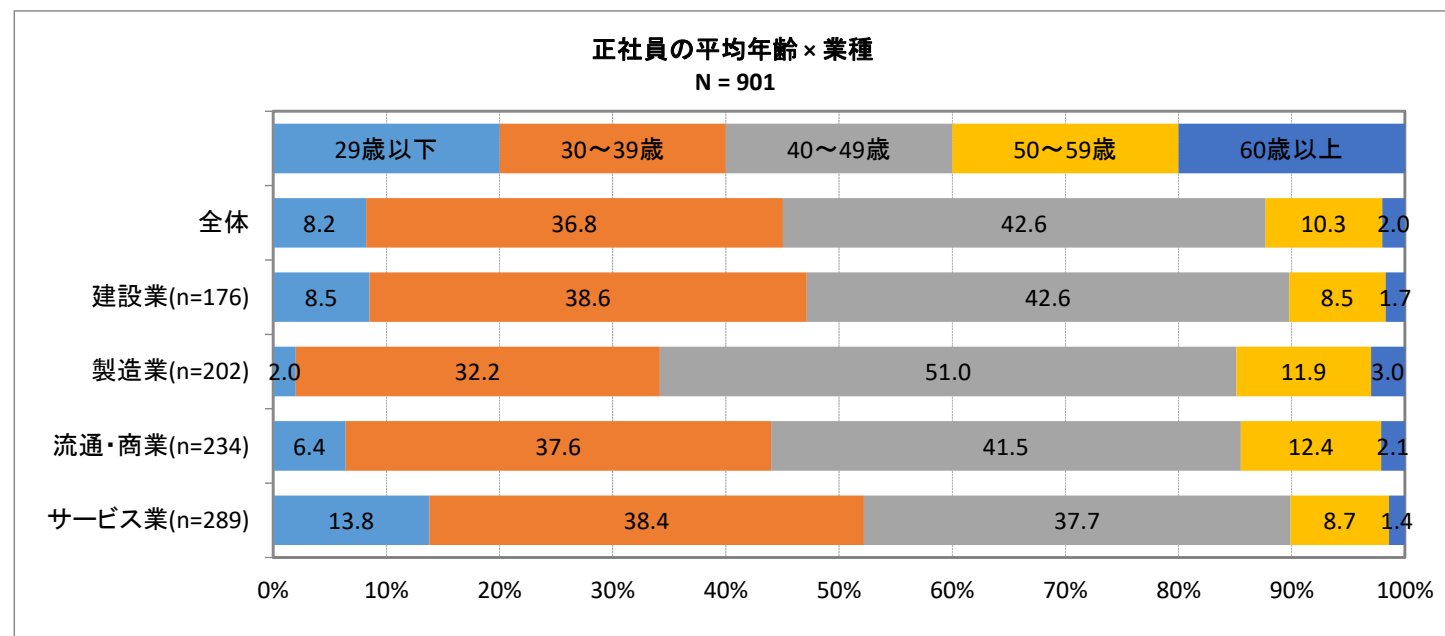
Q2、正社員数 × 業種

上段:度数 下段:%		正社員数							
		合計	1～4人	5～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～99人	100人以上
業種	全体	901 100.0	350 38.8	182 20.2	168 18.6	72 8.0	61 6.8	46 5.1	22 2.4
	建設業	176 100.0	80 45.5	43 24.4	34 19.3	12 6.8	2 1.1	4 2.3	1 0.6
	製造業	202 100.0	45 22.3	37 18.3	44 21.8	28 13.9	21 10.4	19 9.4	8 4.0
	流通・商業	234 100.0	86 36.8	40 17.1	48 20.5	20 8.5	23 9.8	11 4.7	6 2.6
	サービス業	289 100.0	139 48.1	62 21.5	42 14.5	12 4.2	15 5.2	12 4.2	7 2.4



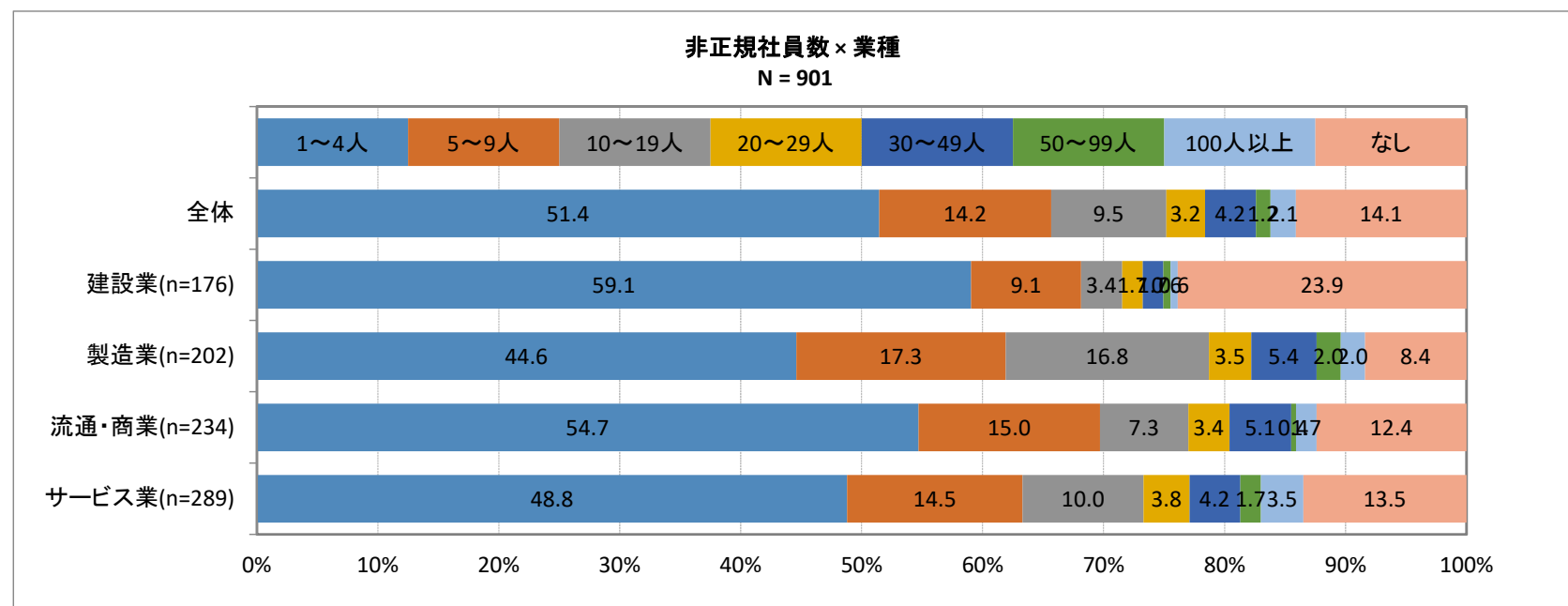
Q3、正社員の平均年齢 × 業種

上段:度数 下段:%		正社員の平均年齢					
		合計	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
業種	全体	901 100.0	74 8.2	332 36.8	384 42.6	93 10.3	18 2.0
	建設業	176 100.0	15 8.5	68 38.6	75 42.6	15 8.5	3 1.7
	製造業	202 100.0	4 2.0	65 32.2	103 51.0	24 11.9	6 3.0
	流通・商業	234 100.0	15 6.4	88 37.6	97 41.5	29 12.4	5 2.1
	サービス業	289 100.0	40 13.8	111 38.4	109 37.7	25 8.7	4 1.4



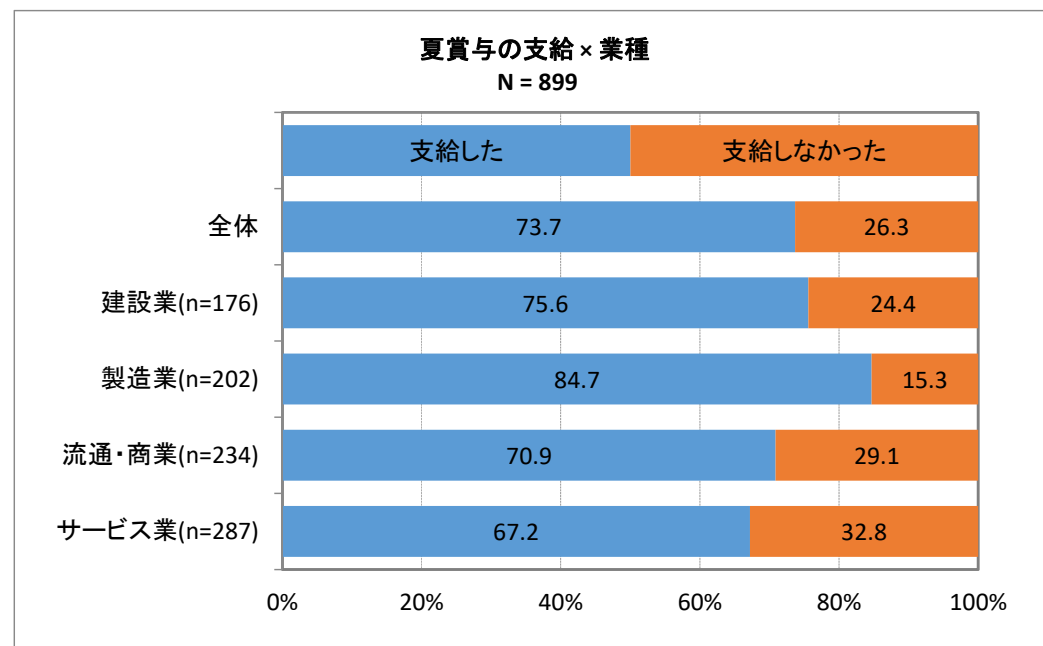
Q4.非正規社員数 × 業種

上段:度数 下段:%		非正規社員数								
		合計	1～4人	5～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～99人	100人以上	なし
業種	全体	901 100.0	463 51.4	128 14.2	86 9.5	29 3.2	38 4.2	11 1.2	19 2.1	127 14.1
	建設業	176 100.0	104 59.1	16 9.1	6 3.4	3 1.7	3 1.7	1 0.6	1 0.6	42 23.9
	製造業	202 100.0	90 44.6	35 17.3	34 16.8	7 3.5	11 5.4	4 2.0	4 2.0	17 8.4
	流通・商業	234 100.0	128 54.7	35 15.0	17 7.3	8 3.4	12 5.1	1 0.4	4 1.7	29 12.4
	サービス業	289 100.0	141 48.8	42 14.5	29 10.0	11 3.8	12 4.2	5 1.7	10 3.5	39 13.5



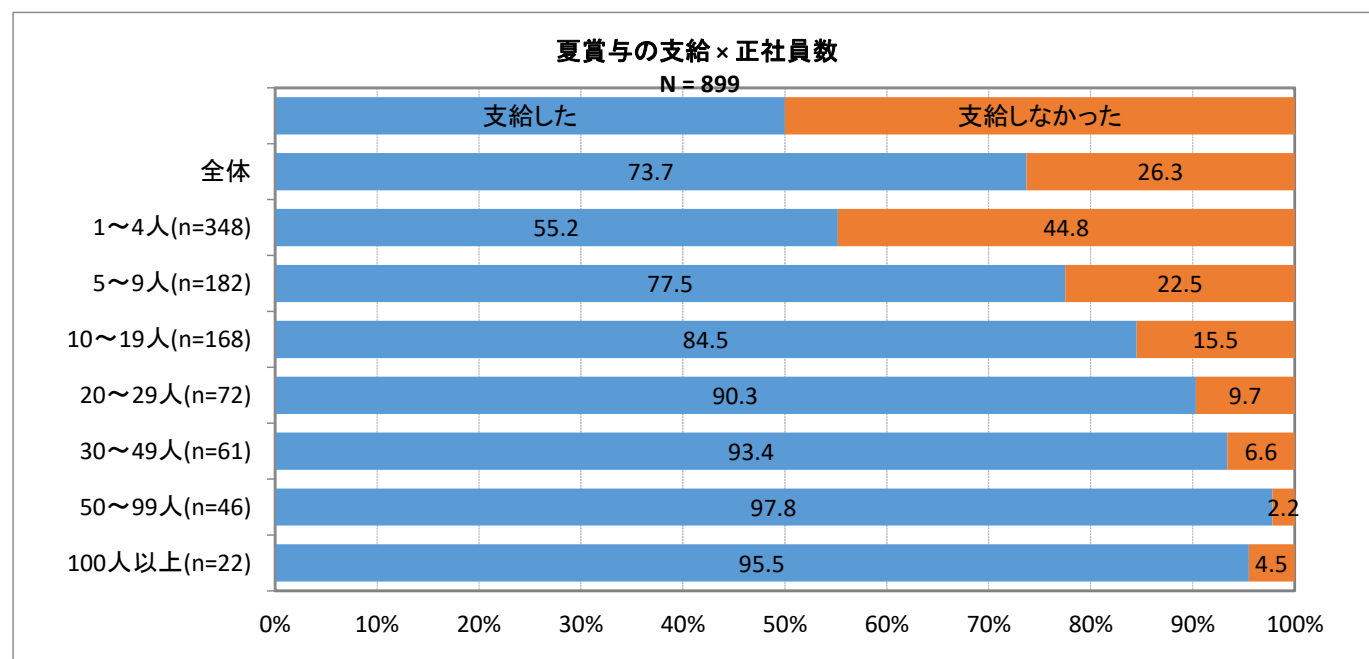
Q5、夏賞与の支給 × 業種

上段:度数 下段:%		夏賞与の支給		
		合計	支給した	支給 しなかった
業種	全体	899 100.0	663 73.7	236 26.3
	建設業	176 100.0	133 75.6	43 24.4
	製造業	202 100.0	171 84.7	31 15.3
	流通・商業	234 100.0	166 70.9	68 29.1
	サービス業	287 100.0	193 67.2	94 32.8



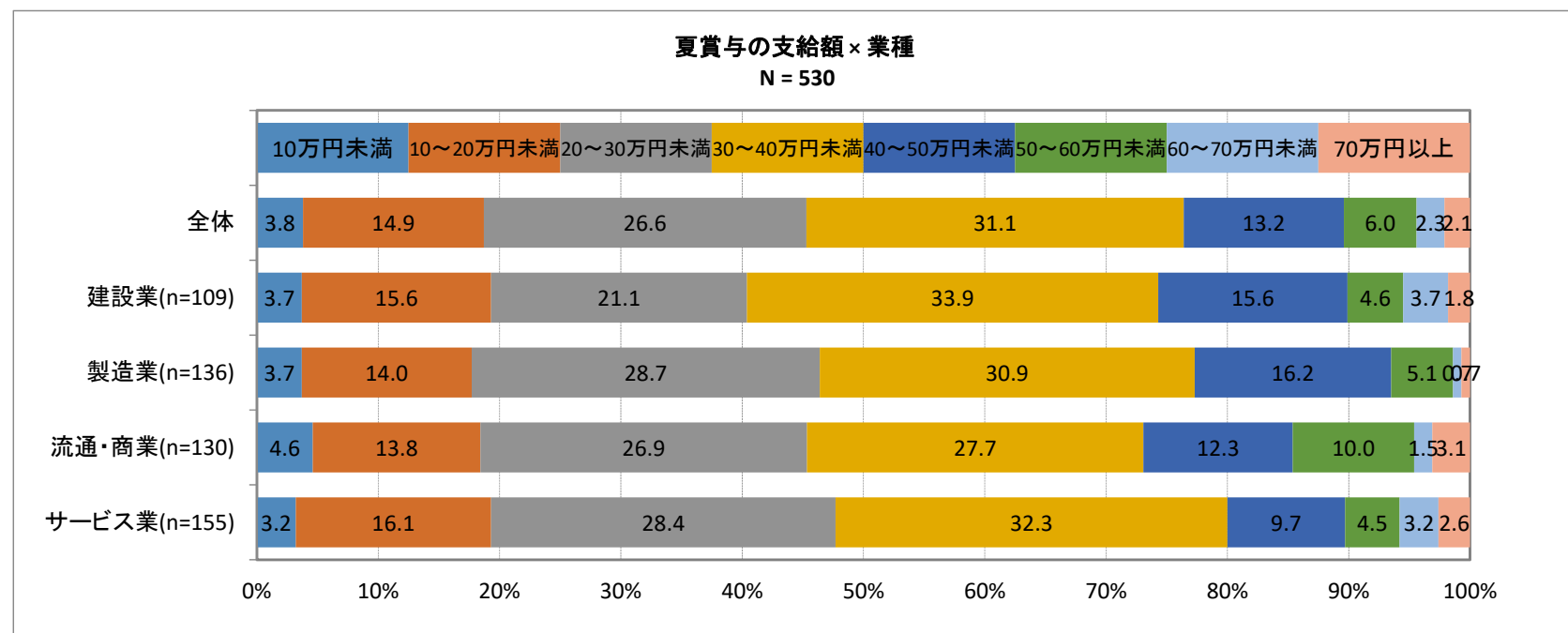
Q5、夏賞与の支給 × 正社員数

上段:度数		夏賞与の支給		
下段:%		合計	支給した	支給しなかった
正社員数	全体	899 100.0	663 73.7	236 26.3
	1～4人	348 100.0	192 55.2	156 44.8
	5～9人	182 100.0	141 77.5	41 22.5
	10～19人	168 100.0	142 84.5	26 15.5
	20～29人	72 100.0	65 90.3	7 9.7
	30～49人	61 100.0	57 93.4	4 6.6
	50～99人	46 100.0	45 97.8	1 2.2
	100人以上	22 100.0	21 95.5	1 4.5



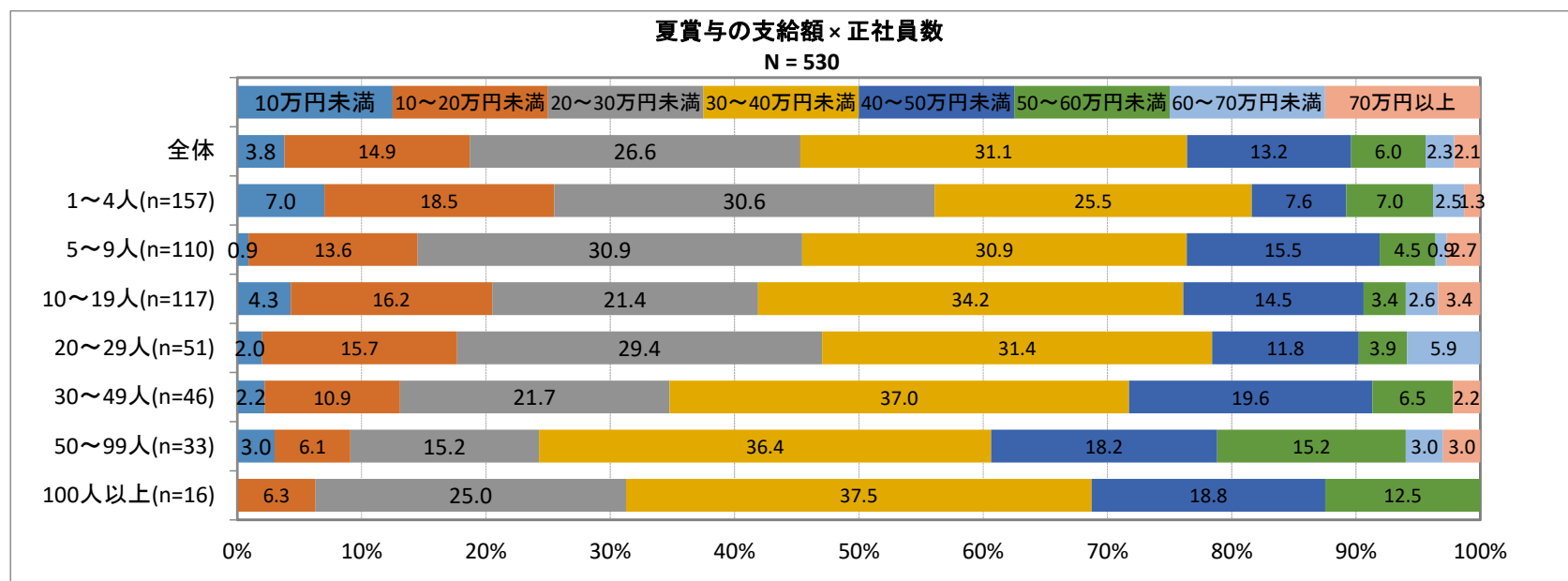
Q6、夏賞与の支給額 × 業種

上段:度数 下段:%		夏賞与の支給額								
		合計	10万円未満	10～20万円未満	20～30万円未満	30～40万円未満	40～50万円未満	50～60万円未満	60～70万円未満	70万円以上
業種	全体	530 100.0	20 3.8	79 14.9	141 26.6	165 31.1	70 13.2	32 6.0	12 2.3	11 2.1
	建設業	109 100.0	4 3.7	17 15.6	23 21.1	37 33.9	17 15.6	5 4.6	4 3.7	2 1.8
	製造業	136 100.0	5 3.7	19 14.0	39 28.7	42 30.9	22 16.2	7 5.1	1 0.7	1 0.7
	流通・商業	130 100.0	6 4.6	18 13.8	35 26.9	36 27.7	16 12.3	13 10.0	2 1.5	4 3.1
	サービス業	155 100.0	5 3.2	25 16.1	44 28.4	50 32.3	15 9.7	7 4.5	5 3.2	4 2.6



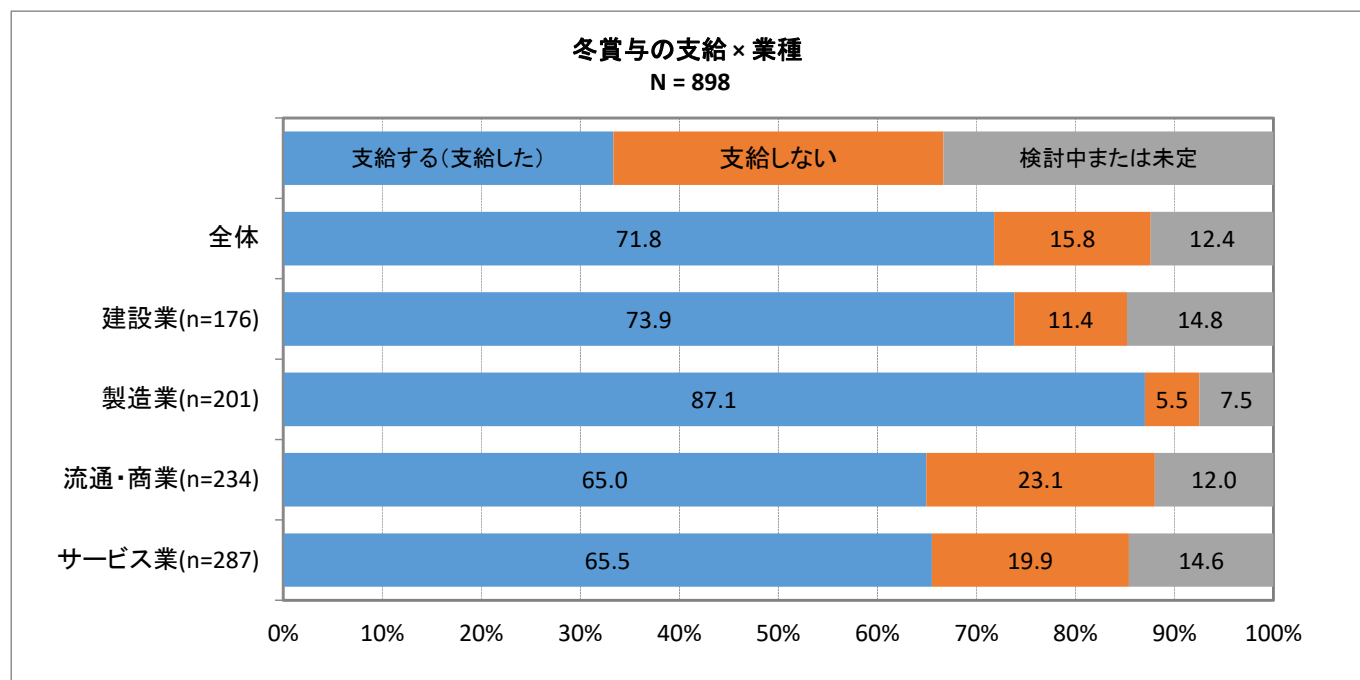
Q6、夏賞与の支給額 × 正社員数

上段:度数 下段:%		夏賞与の支給額								
		合計	10万円未満	10～20万円未満	20～30万円未満	30～40万円未満	40～50万円未満	50～60万円未満	60～70万円未満	70万円以上
正社員数	全体	530 100.0	20 3.8	79 14.9	141 26.6	165 31.1	70 13.2	32 6.0	12 2.3	11 2.1
	1～4人	157 100.0	11 7.0	29 18.5	48 30.6	40 25.5	12 7.6	11 7.0	4 2.5	2 1.3
	5～9人	110 100.0	1 0.9	15 13.6	34 30.9	34 30.9	17 15.5	5 4.5	1 0.9	3 2.7
	10～19人	117 100.0	5 4.3	19 16.2	25 21.4	40 34.2	17 14.5	4 3.4	3 2.6	4 3.4
	20～29人	51 100.0	1 2.0	8 15.7	15 29.4	16 31.4	6 11.8	2 3.9	3 5.9	- -
	30～49人	46 100.0	1 2.2	5 10.9	10 21.7	17 37.0	9 19.6	3 6.5	- -	1 2.2
	50～99人	33 100.0	1 3.0	2 6.1	5 15.2	12 36.4	6 18.2	5 15.2	1 3.0	1 3.0
	100人以上	16 100.0	- -	1 6.3	4 25.0	6 37.5	3 18.8	2 12.5	- -	- -



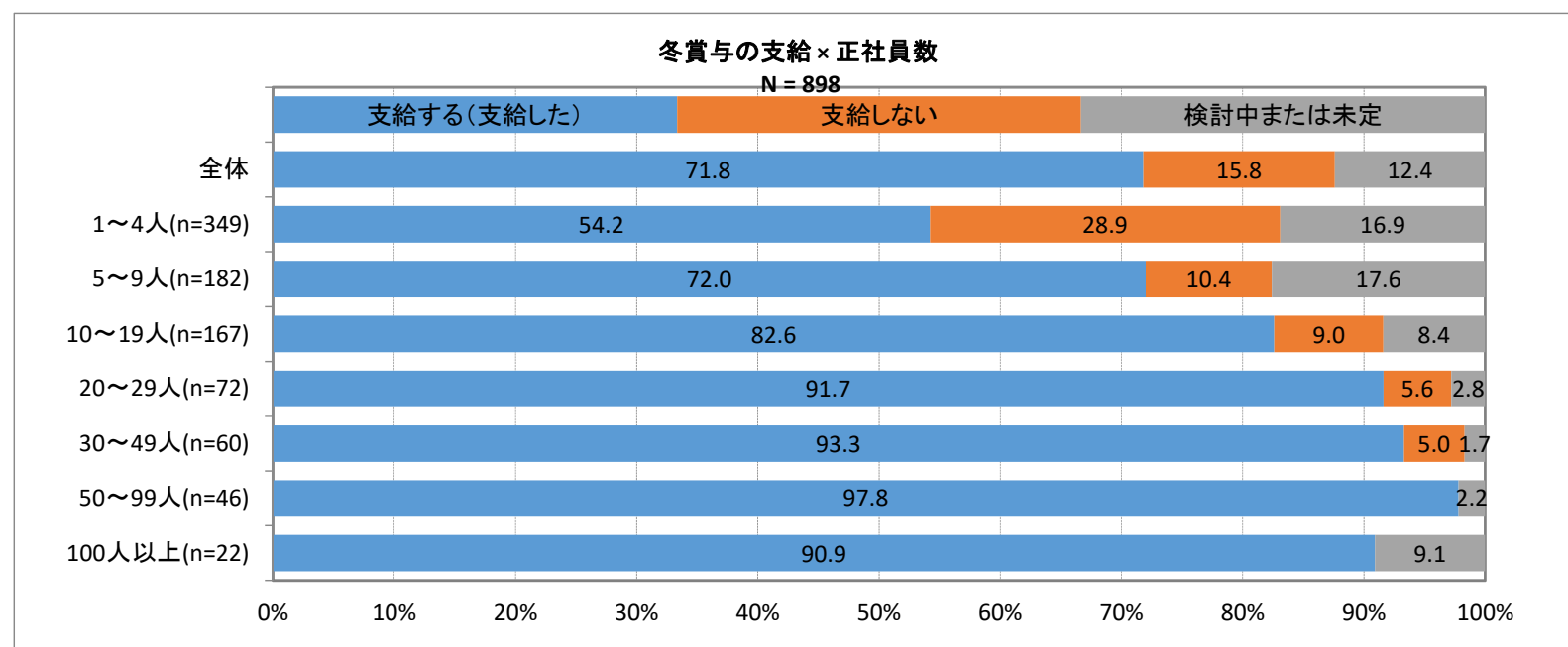
Q7、冬賞与の支給 × 業種

上段:度数		冬賞与の支給			
下段:%		合計	支給する (支給した)	支給しない	検討中 または未定
業種	全体	898 100.0	645 71.8	142 15.8	111 12.4
	建設業	176 100.0	130 73.9	20 11.4	26 14.8
	製造業	201 100.0	175 87.1	11 5.5	15 7.5
	流通・商業	234 100.0	152 65.0	54 23.1	28 12.0
	サービス業	287 100.0	188 65.5	57 19.9	42 14.6



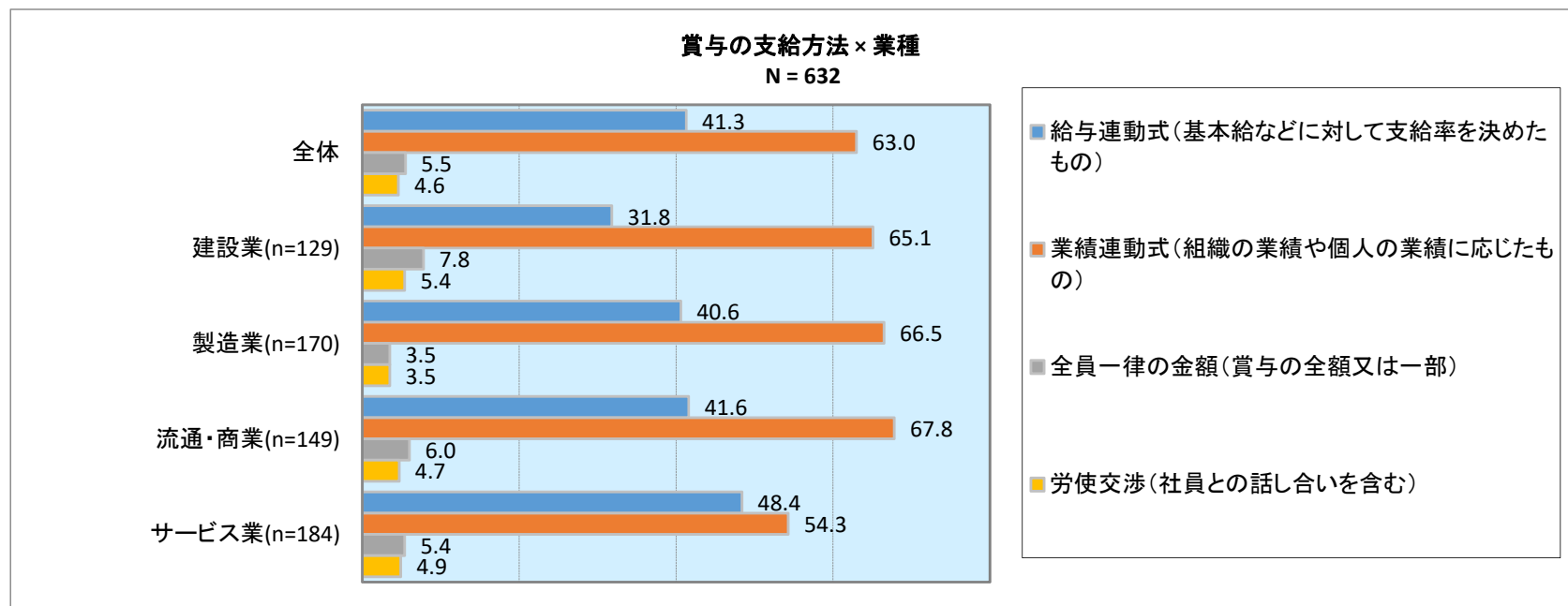
Q7、冬賞与の支給 × 正社員数

上段:度数		冬賞与の支給			
下段:%		合計	支給する (支給した)	支給しない	検討中 または未定
正社員数	全体	898	645	142	111
		100.0	71.8	15.8	12.4
	1～4人	349	189	101	59
		100.0	54.2	28.9	16.9
	5～9人	182	131	19	32
		100.0	72.0	10.4	17.6
	10～19人	167	138	15	14
		100.0	82.6	9.0	8.4
	20～29人	72	66	4	2
		100.0	91.7	5.6	2.8
	30～49人	60	56	3	1
		100.0	93.3	5.0	1.7
	50～99人	46	45	-	1
		100.0	97.8	-	2.2
	100人以上	22	20	-	2
		100.0	90.9	-	9.1



Q8、賞与の支給方法 × 業種

上段:度数 下段:%		賞与の支給方法				
		合計	給与連動式	業績連動式	全員一律の金額	労使交渉
業種	全体	632 100.0	261 41.3	398 63.0	35 5.5	29 4.6
	建設業	129 100.0	41 31.8	84 65.1	10 7.8	7 5.4
	製造業	170 100.0	69 40.6	113 66.5	6 3.5	6 3.5
	流通・商業	149 100.0	62 41.6	101 67.8	9 6.0	7 4.7
	サービス業	184 100.0	89 48.4	100 54.3	10 5.4	9 4.9

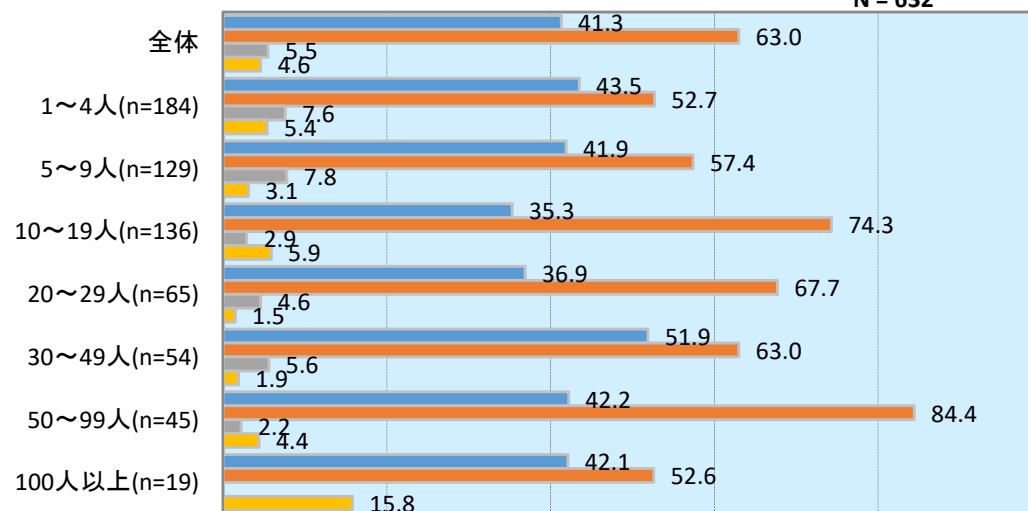


Q8、賞与の支給方法 × 正社員数

上段:度数		賞与の支給方法				
下段:%		合計	給与連動式	業績連動式	全員一律の金額	労使交渉
正社員数	全体	632	261	398	35	29
		100.0	41.3	63.0	5.5	4.6
	1～4人	184	80	97	14	10
		100.0	43.5	52.7	7.6	5.4
	5～9人	129	54	74	10	4
		100.0	41.9	57.4	7.8	3.1
	10～19人	136	48	101	4	8
		100.0	35.3	74.3	2.9	5.9
正社員数	20～29人	65	24	44	3	1
		100.0	36.9	67.7	4.6	1.5
	30～49人	54	28	34	3	1
		100.0	51.9	63.0	5.6	1.9
	50～99人	45	19	38	1	2
		100.0	42.2	84.4	2.2	4.4
	100人以上	19	8	10	-	3
		100.0	42.1	52.6	-	15.8

賞与の支給方法 × 正社員数

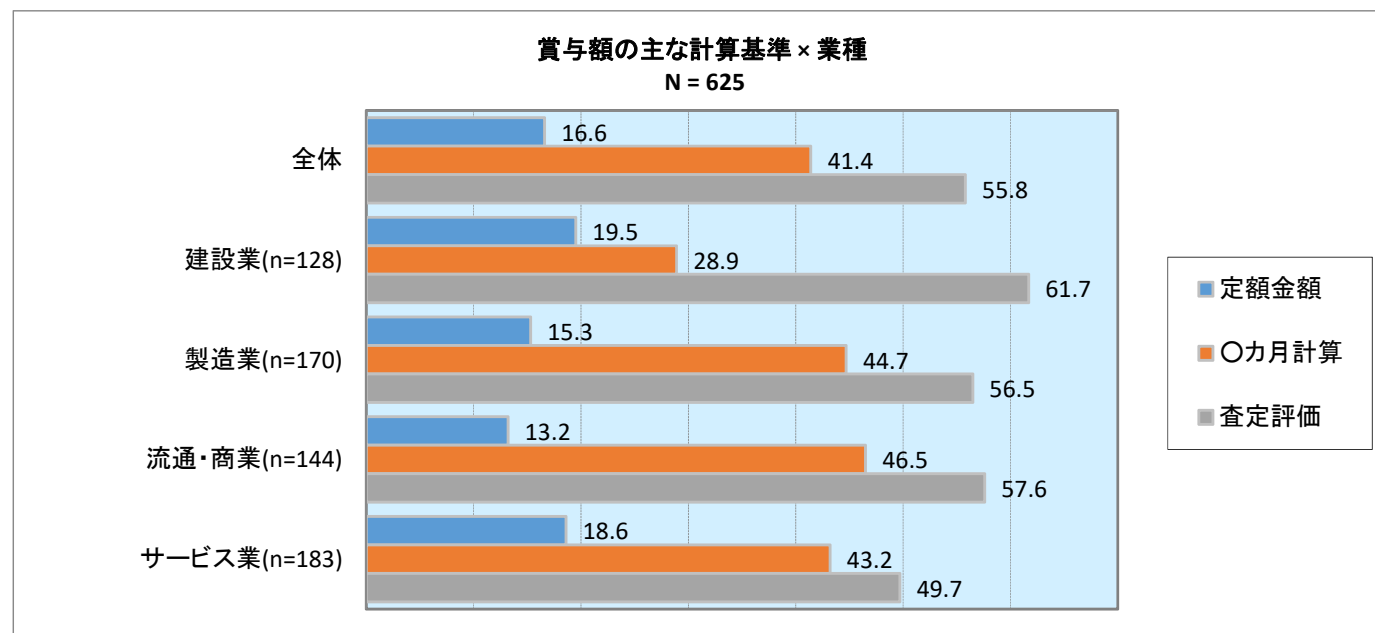
N = 632



- 給与連動式 (基本給などに対して支給率を決めたもの)
- 業績連動式 (組織の業績や個人の業績に応じたもの)
- 全員一律の金額 (賞与の全額又は一部)
- 労使交渉 (社員との話し合いを含む)

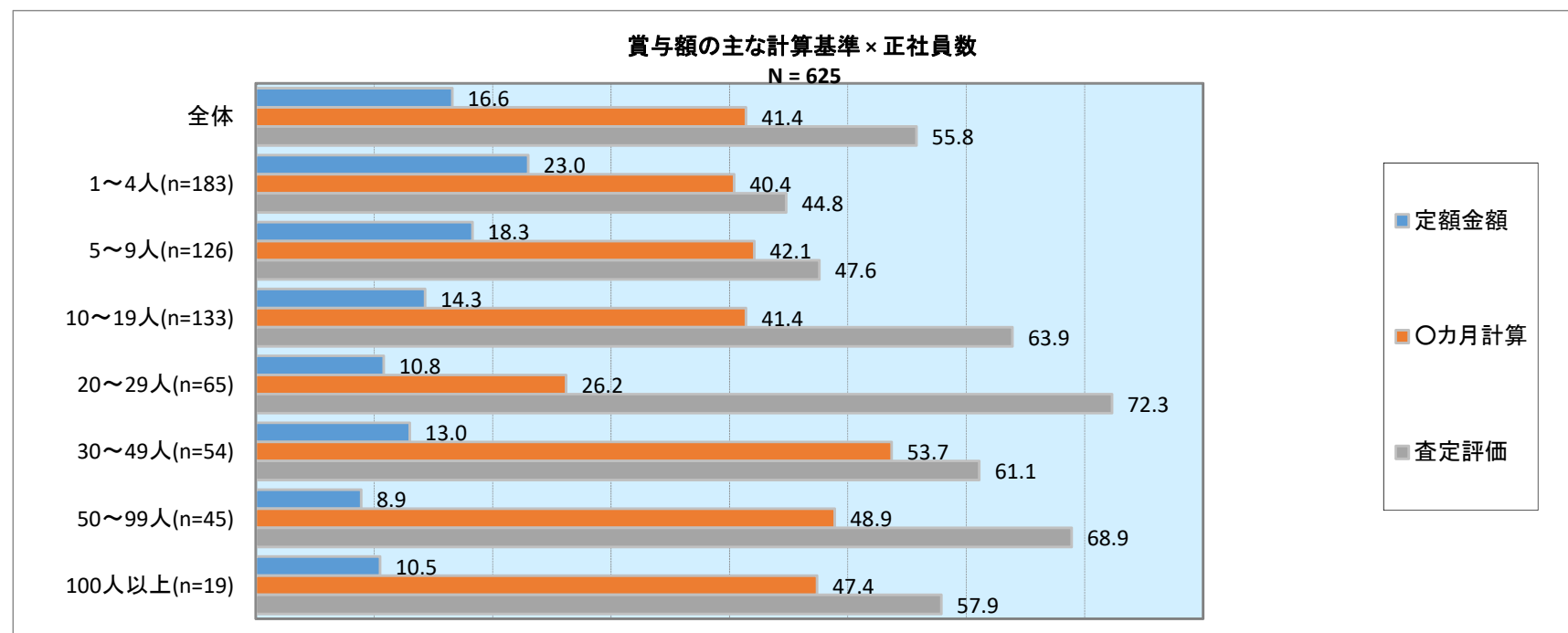
Q9、賞与額の主な計算基準 × 業種

上段:度数		賞与額の主な計算基準			
下段:%		合計	定額金額	〇カ月計算	査定評価
業種	全体	625	104	259	349
		100.0	16.6	41.4	55.8
	建設業	128	25	37	79
		100.0	19.5	28.9	61.7
	製造業	170	26	76	96
		100.0	15.3	44.7	56.5
	流通・商業	144	19	67	83
		100.0	13.2	46.5	57.6
	サービス業	183	34	79	91
		100.0	18.6	43.2	49.7



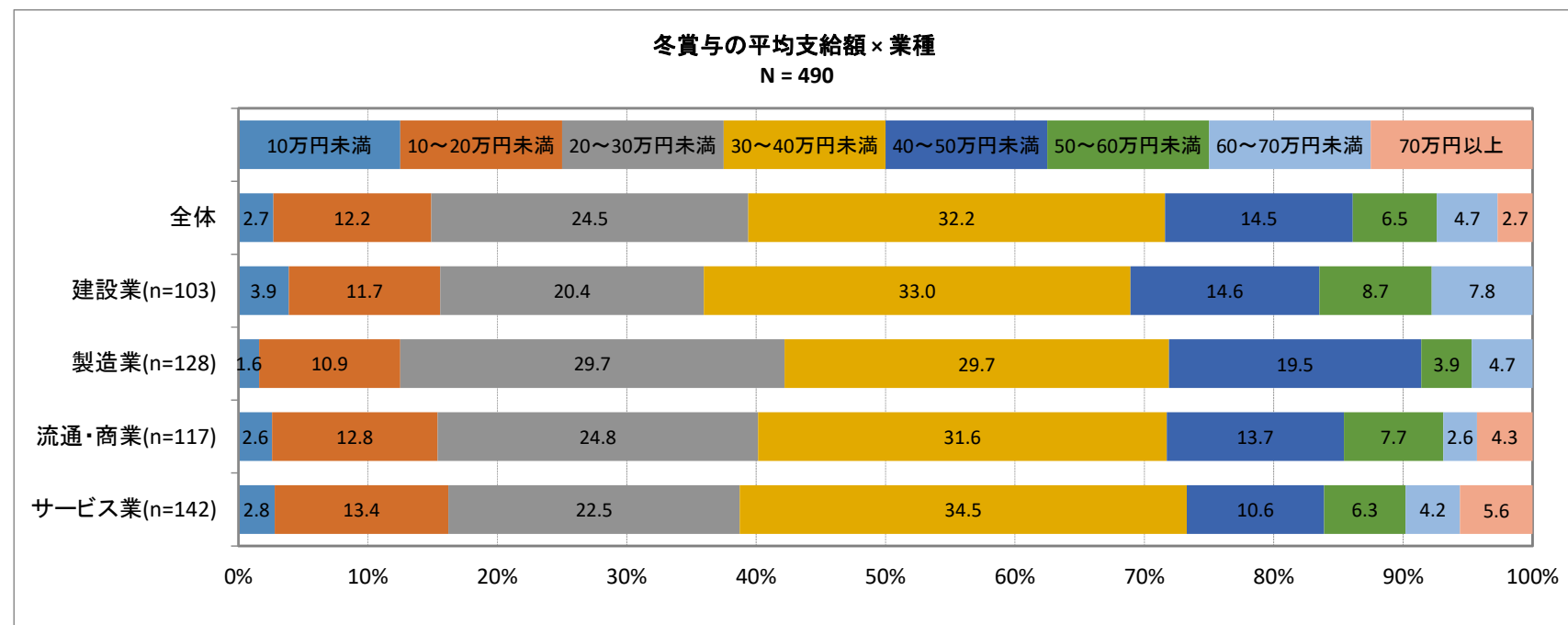
Q9、賞与額の主な計算基準 × 正社員数

		賞与額の主な計算基準			
上段:度数 下段:%		合計	定額金額	〇カ月計算	査定評価
正社員数	全体	625 100.0	104 16.6	259 41.4	349 55.8
	1～4人	183 100.0	42 23.0	74 40.4	82 44.8
	5～9人	126 100.0	23 18.3	53 42.1	60 47.6
	10～19人	133 100.0	19 14.3	55 41.4	85 63.9
	20～29人	65 100.0	7 10.8	17 26.2	47 72.3
	30～49人	54 100.0	7 13.0	29 53.7	33 61.1
	50～99人	45 100.0	4 8.9	22 48.9	31 68.9
	100人以上	19 100.0	2 10.5	9 47.4	11 57.9



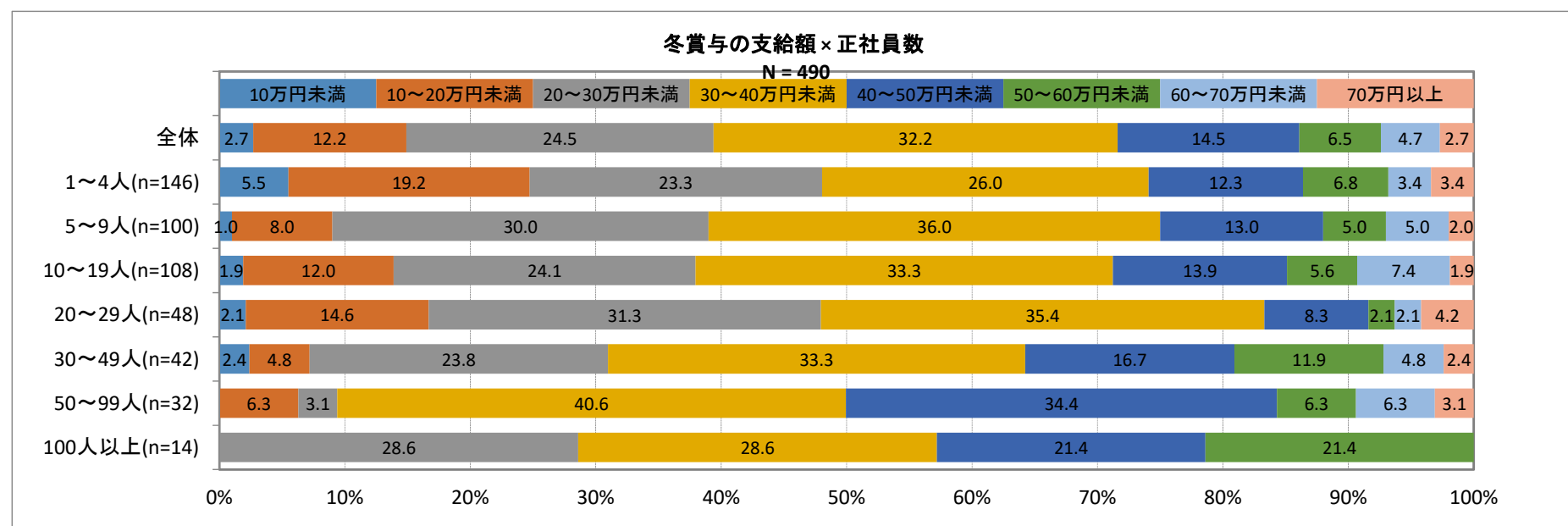
Q10、冬賞与の平均支給額 × 業種

上段:度数 下段:%		冬賞与の平均支給額								
		合計	10万円未満	10～20万円未満	20～30万円未満	30～40万円未満	40～50万円未満	50～60万円未満	60～70万円未満	70万円以上
業種	全体	490 100.0	13 2.7	60 12.2	120 24.5	158 32.2	71 14.5	32 6.5	23 4.7	13 2.7
	建設業	103 100.0	4 3.9	12 11.7	21 20.4	34 33.0	15 14.6	9 8.7	8 7.8	- -
	製造業	128 100.0	2 1.6	14 10.9	38 29.7	38 29.7	25 19.5	5 3.9	6 4.7	- -
	流通・商業	117 100.0	3 2.6	15 12.8	29 24.8	37 31.6	16 13.7	9 7.7	3 2.6	5 4.3
	サービス業	142 100.0	4 2.8	19 13.4	32 22.5	49 34.5	15 10.6	9 6.3	6 4.2	8 5.6



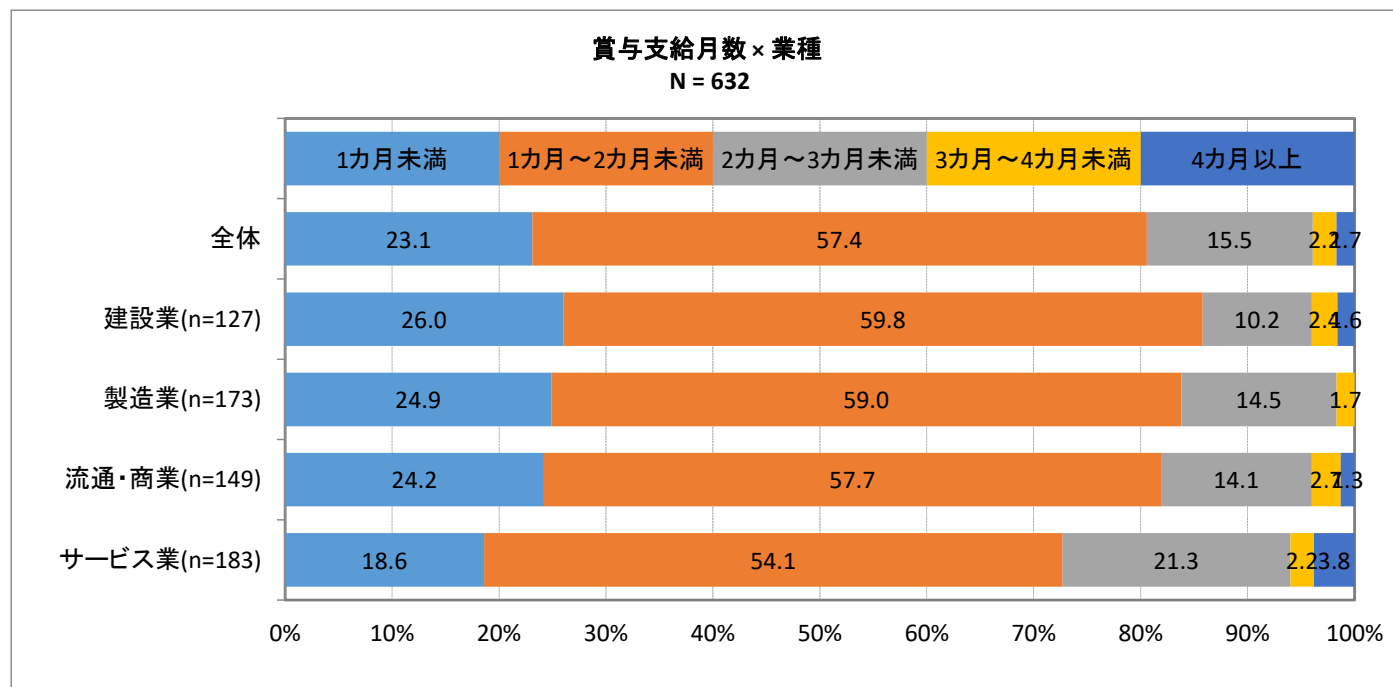
Q10、冬賞与の支給額 × 正社員数

上段:度数 下段:%		冬賞与の支給額								
		合計	10 万円未満	10～20 万円未満	20～30 万円未満	30～40 万円未満	40～50 万円未満	50～60 万円未満	60～70 万円未満	70 万円以上
正社員数	全体	490 100.0	13 2.7	60 12.2	120 24.5	158 32.2	71 14.5	32 6.5	23 4.7	13 2.7
	1～4人	146 100.0	8 5.5	28 19.2	34 23.3	38 26.0	18 12.3	10 6.8	5 3.4	5 3.4
	5～9人	100 100.0	1 1.0	8 8.0	30 30.0	36 36.0	13 13.0	5 5.0	5 5.0	2 2.0
	10～19人	108 100.0	2 1.9	13 12.0	26 24.1	36 33.3	15 13.9	6 5.6	8 7.4	2 1.9
	20～29人	48 100.0	1 2.1	7 14.6	15 31.3	17 35.4	4 8.3	1 2.1	1 2.1	2 4.2
	30～49人	42 100.0	1 2.4	2 4.8	10 23.8	14 33.3	7 16.7	5 11.9	2 4.8	1 2.4
	50～99人	32 100.0	- -	2 6.3	1 3.1	13 40.6	11 34.4	2 6.3	2 6.3	1 3.1
	100人以上	14 100.0	- -	- -	4 28.6	4 28.6	3 21.4	3 21.4	- -	- -



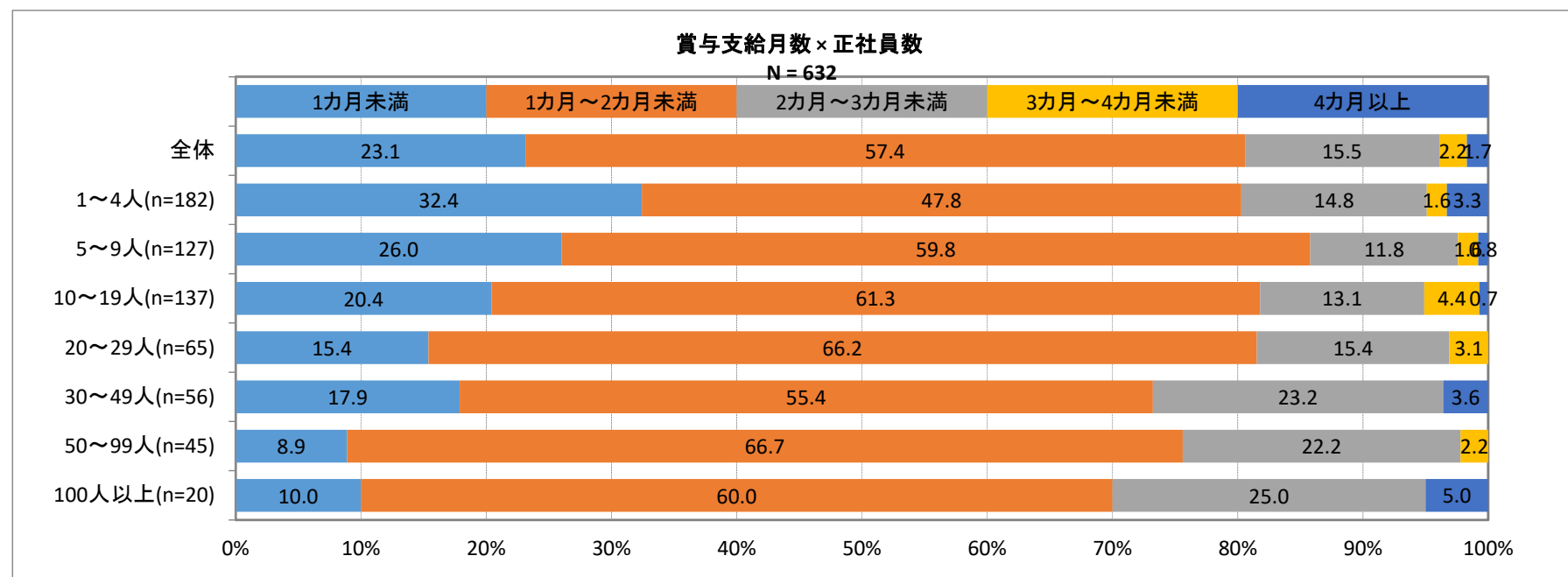
Q11、賞与支給月数 × 業種

上段:度数		賞与支給月数					
下段:%		合計	1カ月未満	1カ月～ 2カ月未満	2カ月～ 3カ月未満	3カ月～ 4カ月未満	4カ月以上
業種	全体	632 100.0	146 23.1	363 57.4	98 15.5	14 2.2	11 1.7
	建設業	127 100.0	33 26.0	76 59.8	13 10.2	3 2.4	2 1.6
	製造業	173 100.0	43 24.9	102 59.0	25 14.5	3 1.7	- -
	流通・商業	149 100.0	36 24.2	86 57.7	21 14.1	4 2.7	2 1.3
	サービス業	183 100.0	34 18.6	99 54.1	39 21.3	4 2.2	7 3.8



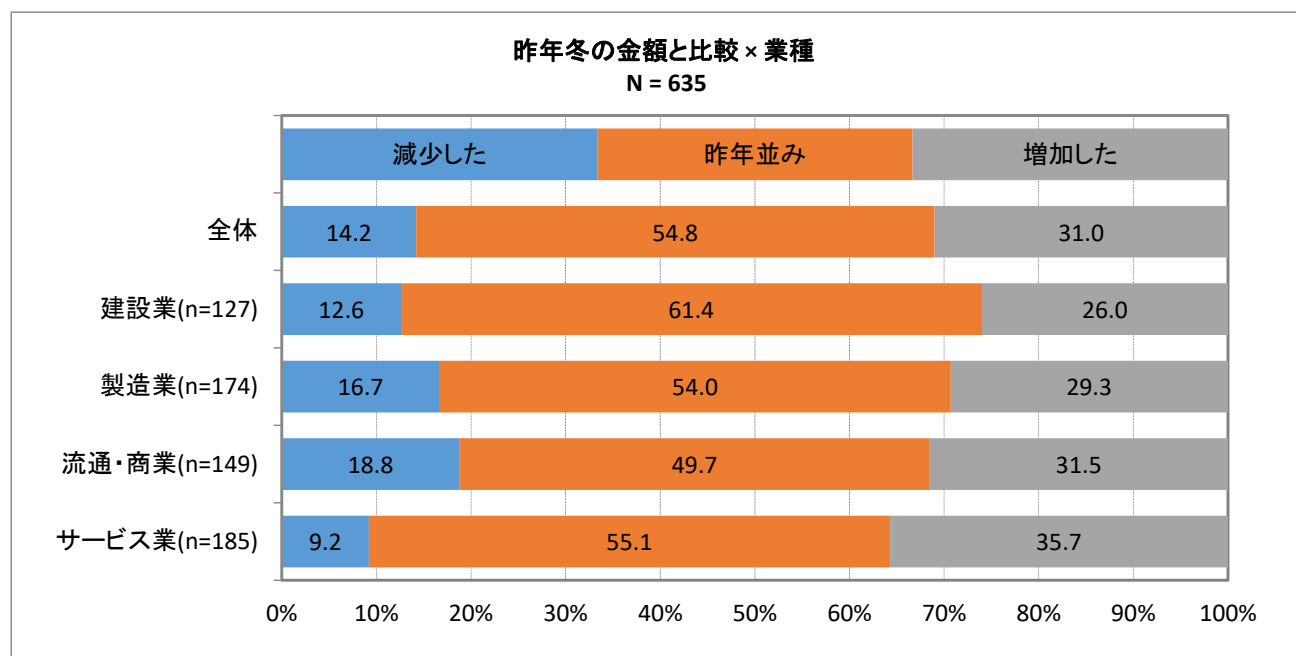
Q11、賞与支給月数 × 正社員数

上段:度数		賞与支給月数					
下段:%		合計	1カ月未満	1カ月～ 2カ月未満	2カ月～ 3カ月未満	3カ月～ 4カ月未満	4カ月以上
正社員数	全体	632	146	363	98	14	11
		100.0	23.1	57.4	15.5	2.2	1.7
	1～4人	182	59	87	27	3	6
		100.0	32.4	47.8	14.8	1.6	3.3
	5～9人	127	33	76	15	2	1
		100.0	26.0	59.8	11.8	1.6	0.8
	10～19人	137	28	84	18	6	1
		100.0	20.4	61.3	13.1	4.4	0.7
正社員数	20～29人	65	10	43	10	2	-
		100.0	15.4	66.2	15.4	3.1	-
	30～49人	56	10	31	13	-	2
		100.0	17.9	55.4	23.2	-	3.6
	50～99人	45	4	30	10	1	-
		100.0	8.9	66.7	22.2	2.2	-
	100人以上	20	2	12	5	-	1
		100.0	10.0	60.0	25.0	-	5.0



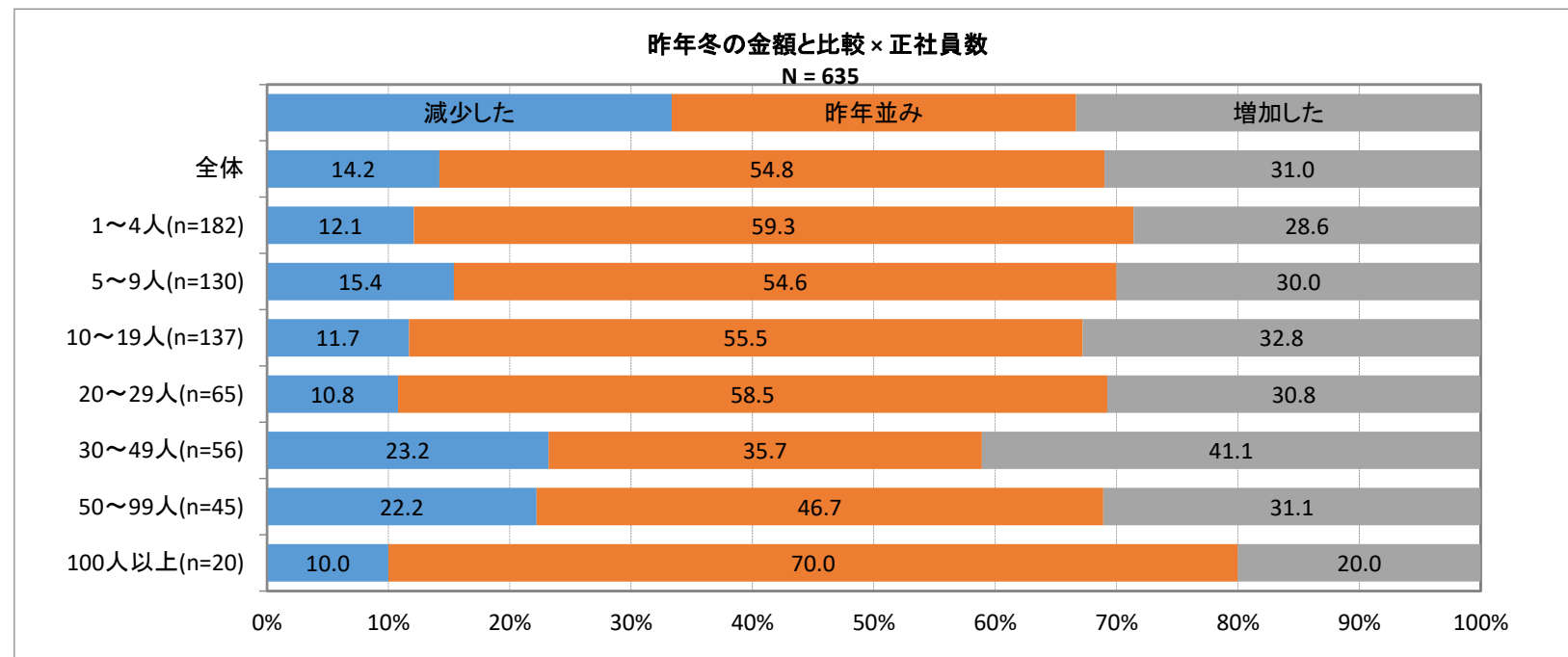
Q12、昨年冬の金額と比較 × 業種

上段:度数 下段:%		昨年冬の金額と比較			
		合計	減少した	昨年並み	増加した
業種	全体	635 100.0	90 14.2	348 54.8	197 31.0
	建設業	127 100.0	16 12.6	78 61.4	33 26.0
	製造業	174 100.0	29 16.7	94 54.0	51 29.3
	流通・商業	149 100.0	28 18.8	74 49.7	47 31.5
	サービス業	185 100.0	17 9.2	102 55.1	66 35.7



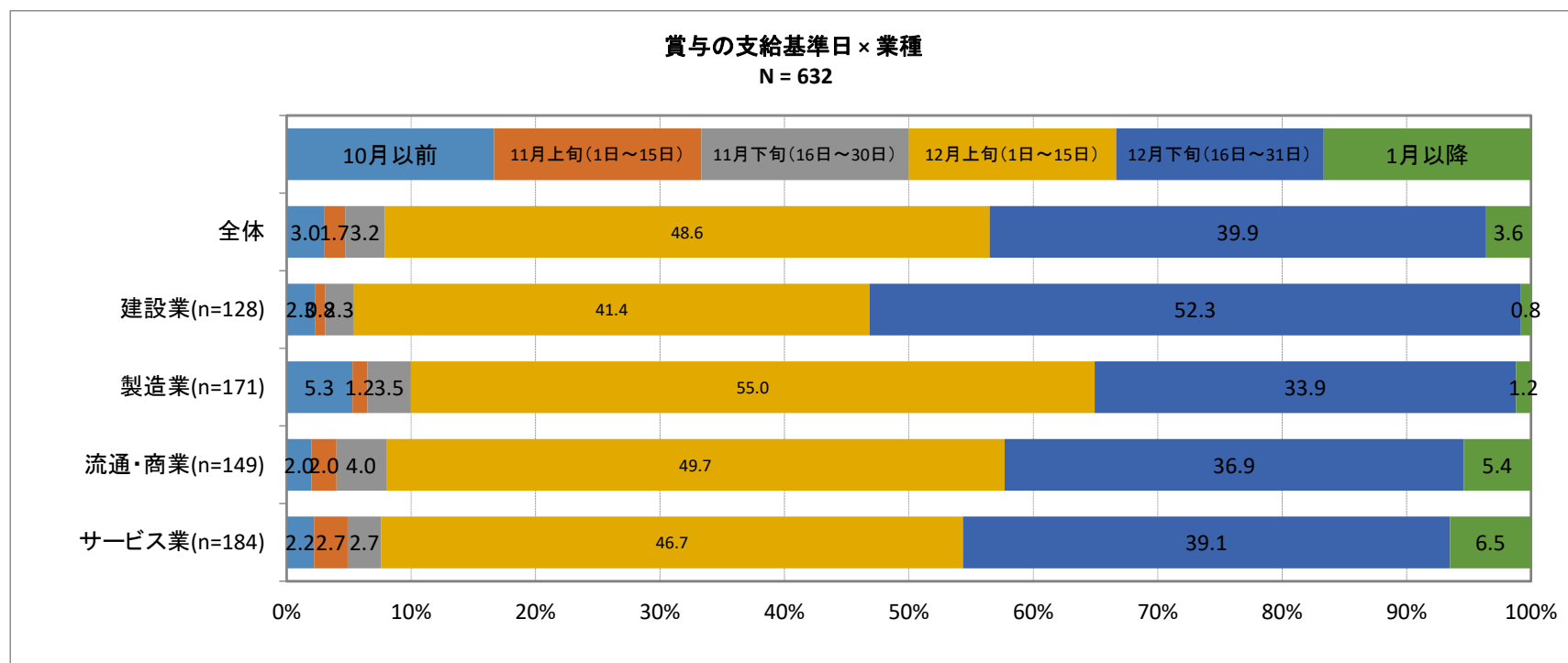
Q12、昨年冬の金額と比較 × 正社員数

上段:度数 下段:%		昨年冬の金額と比較			
		合計	減少した	昨年並み	増加した
正社員数	全体	635	90	348	197
		100.0	14.2	54.8	31.0
	1～4人	182	22	108	52
		100.0	12.1	59.3	28.6
	5～9人	130	20	71	39
		100.0	15.4	54.6	30.0
	10～19人	137	16	76	45
		100.0	11.7	55.5	32.8
正社員数	20～29人	65	7	38	20
		100.0	10.8	58.5	30.8
	30～49人	56	13	20	23
		100.0	23.2	35.7	41.1
	50～99人	45	10	21	14
		100.0	22.2	46.7	31.1
	100人以上	20	2	14	4
		100.0	10.0	70.0	20.0



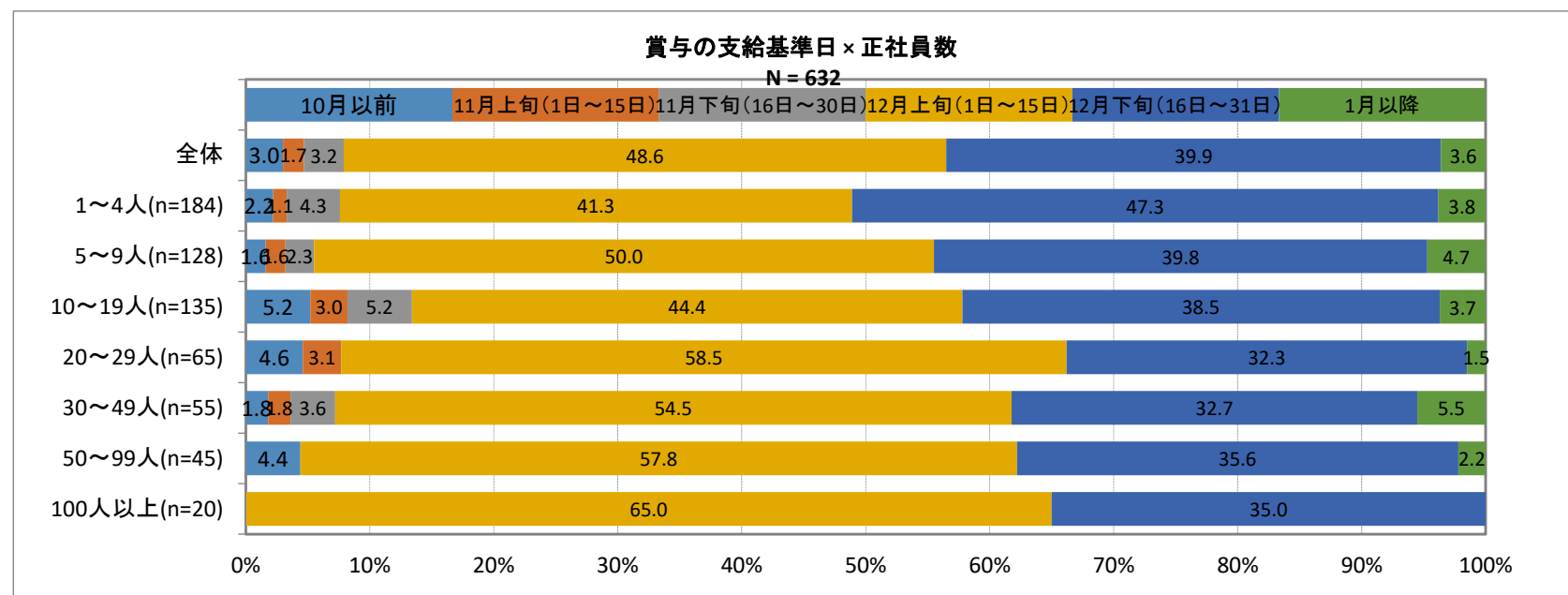
Q13、賞与の支給基準日 × 業種

上段:度数 下段:%		賞与の支給基準日						
		合計	10月以前	11月上旬 (1日～15日)	11月下旬 (16日～30日)	12月上旬 (1日～15日)	12月下旬 (16日～31日)	1月以降
業種	全体	632 100.0	19 3.0	11 1.7	20 3.2	307 48.6	252 39.9	23 3.6
	建設業	128 100.0	3 2.3	1 0.8	3 2.3	53 41.4	67 52.3	1 0.8
	製造業	171 100.0	9 5.3	2 1.2	6 3.5	94 55.0	58 33.9	2 1.2
	流通・商業	149 100.0	3 2.0	3 2.0	6 4.0	74 49.7	55 36.9	8 5.4
	サービス業	184 100.0	4 2.2	5 2.7	5 2.7	86 46.7	72 39.1	12 6.5



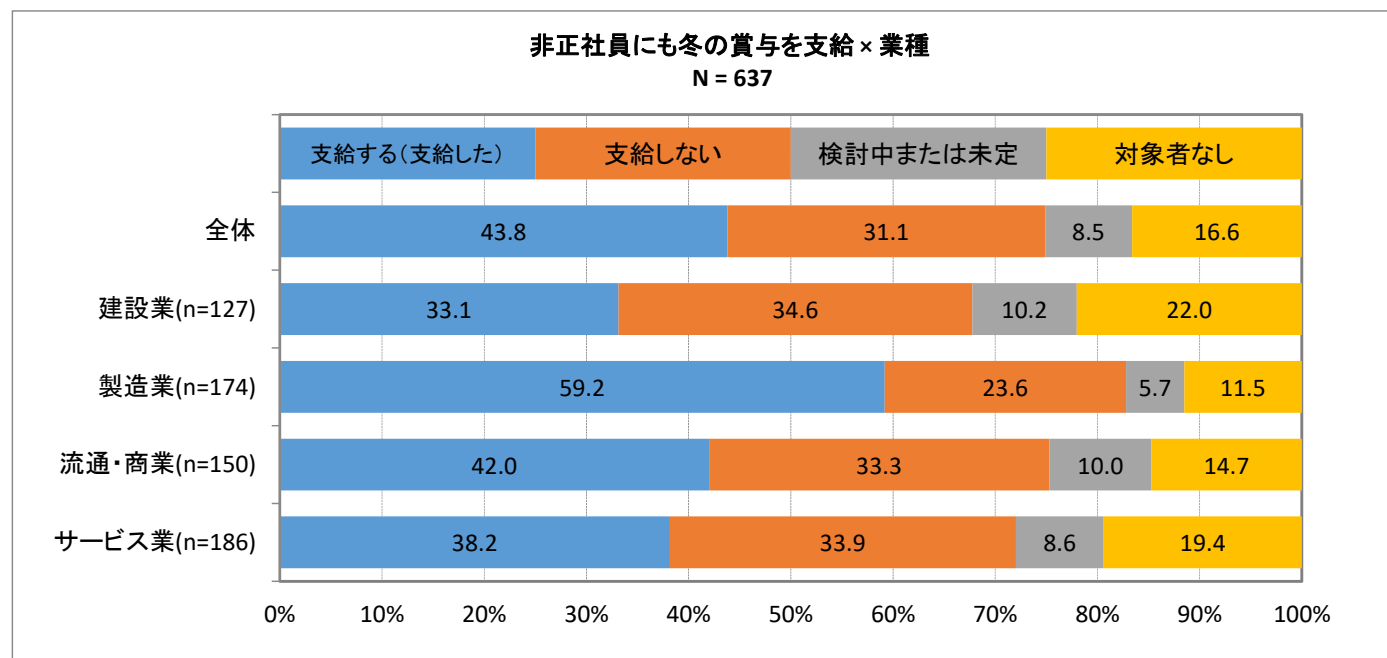
Q13、賞与の支給基準日 × 正社員数

上段:度数		賞与の支給基準日						
下段:%		合計	10月以前	11月上旬 (1日～15日)	11月下旬 (16日～30日)	12月上旬 (1日～15日)	12月下旬 (16日～31日)	1月以降
正社員数	全体	632 100.0	19 3.0	11 1.7	20 3.2	307 48.6	252 39.9	23 3.6
	1～4人	184 100.0	4 2.2	2 1.1	8 4.3	76 41.3	87 47.3	7 3.8
	5～9人	128 100.0	2 1.6	2 1.6	3 2.3	64 50.0	51 39.8	6 4.7
	10～19人	135 100.0	7 5.2	4 3.0	7 5.2	60 44.4	52 38.5	5 3.7
	20～29人	65 100.0	3 4.6	2 3.1	-	38 58.5	21 32.3	1 1.5
	30～49人	55 100.0	1 1.8	1 1.8	2 3.6	30 54.5	18 32.7	3 5.5
	50～99人	45 100.0	2 4.4	-	-	26 57.8	16 35.6	1 2.2
	100人以上	20 100.0	-	-	-	13 65.0	7 35.0	-



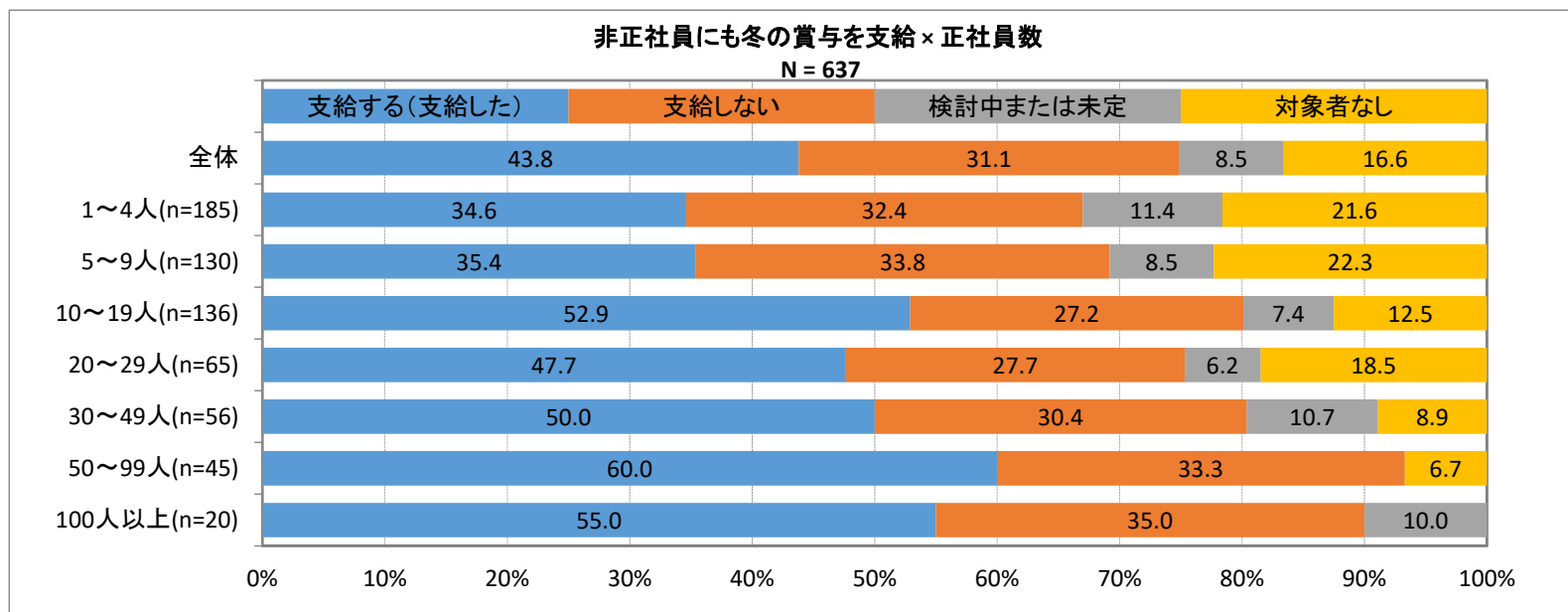
Q14、非正社員にも冬の賞与を支給 × 業種

上段:度数		非正社員にも冬の賞与を支給				
下段:%		合計	支給する (支給した)	支給しない	検討中 または未定	対象者なし
業種	全体	637 100.0	279 43.8	198 31.1	54 8.5	106 16.6
	建設業	127 100.0	42 33.1	44 34.6	13 10.2	28 22.0
	製造業	174 100.0	103 59.2	41 23.6	10 5.7	20 11.5
	流通・商業	150 100.0	63 42.0	50 33.3	15 10.0	22 14.7
	サービス業	186 100.0	71 38.2	63 33.9	16 8.6	36 19.4



Q14、非正社員にも冬の賞与を支給 × 正社員数

上段:度数 下段:%		非正社員にも冬の賞与を支給				
		合計	支給する (支給した)	支給しない	検討中 または未定	対象者なし
正社員数	全体	637 100.0	279 43.8	198 31.1	54 8.5	106 16.6
	1～4人	185 100.0	64 34.6	60 32.4	21 11.4	40 21.6
	5～9人	130 100.0	46 35.4	44 33.8	11 8.5	29 22.3
	10～19人	136 100.0	72 52.9	37 27.2	10 7.4	17 12.5
	20～29人	65 100.0	31 47.7	18 27.7	4 6.2	12 18.5
	30～49人	56 100.0	28 50.0	17 30.4	6 10.7	5 8.9
	50～99人	45 100.0	27 60.0	15 33.3	- -	3 6.7
	100人以上	20 100.0	11 55.0	7 35.0	2 10.0	- -



Q15、賞与に関する意見

No	業種	正社員数	支給の有無	記述回答
1	建設業	1～4人	支給する（支給した）	現在は、年収(年棒)を14ヶ月で割っているような支給方法を取っている。収入の安定と社員の家族の安心を優先している為である。社員を増やし、意欲向上や、競争意識を加えるなら、評価制度の導入も考慮していく。コロナ自粛を止め、受注拡大にシフトしているので、人材確保もこれからの課題である。
2	建設業	10～19人	支給する（支給した）	仕入れの高騰で利益を圧迫しています。賞与は、何とか前年度より少しでも上げるようにしました。
3	建設業	10～19人	支給する（支給した）	賞与支給は当然のことだけど賞与支給とは別に物価高支援金として社員とアルバイト全員に50,000円ずつ支給した大変喜んでくれて士気が上がった様に思います。
4	建設業	10～19人	支給する（支給した）	受注などが厳しい状態ですが、頑張っている社員には賞与で報いたい。パートの社員にも何とか賞与を出したい。物価が上がってきている状況で賞与では生きていけない。頑張っ出ていきます。
5	建設業	10～19人	支給する（支給した）	今のところ順調な経営状況なので支給出来ています。これから先はどうなることやら・・・。
6	建設業	30～49人	支給する（支給した）	賞与も社員さんにとっては固定的な意識があり、業績は良くないが支給せざるを得ない。
7	製造業	1～4人	支給する（支給した）	今年は昨年よりも業績が厳しいため、社員には申し訳ないが、必然的に賞与に反映してしまう。
8	製造業	1～4人	支給する（支給した）	賞与も社員にとっては『生活原資』＝（定期収入）として考えていると思うので、必ず支給する事としている。幸い。業績も良く最近の物価高で社員の消費支出も増えていると思うので、予定支給額よりも上乗せして今回は支給する。
9	製造業	1～4人	検討中または未定	賞与は当たり前という感覚があり、業績次第による意識を持ってもらう必要を感じる。公務員の賞与をメディアで公開することの影響があるのでしょうか。
10	製造業	5～9人	支給する（支給した）	業績を考慮すれば出せないが、社員の為には出さざるを得ない
11	製造業	5～9人	支給する（支給した）	あることが前提の世の中なのでボーナス時期になるとプレッシャーを感じる。材料費の仕入れ価格値上げ分を価格転嫁できるよう努力していかなくては利益がなくなってしまうボーナスの支払いも厳しくなっていく
12	製造業	5～9人	支給する（支給した）	メインの商材以外にも電気、油等が値上がりしてるので、賞与に回せるお金は無いですが、社員さんも生活していく上で物価の上昇の影響は受けているので満足いく金額は出せないが精一杯の事はします。
13	製造業	5～9人	支給する（支給した）	基本給が上げられない状況下で、働き続けてもらう為に（生活を見るために）必要な事だと思う。賃金を上げればもっと良いのだが、計画通りの受注が出来ないのも原因の一つでもある。
14	製造業	5～9人	支給する（支給した）	モチベーションアップのためにも、自分自身の励みとしてもできる限りの額を支給したいです。
15	製造業	5～9人	支給する（支給した）	利益が出せる状態に復活しつつあるが、賞与に充てる資金繰りが大変になっており悩んでいる。コロナ融資の返済はまだ始まっていないが、今後心配。
16	製造業	10～19人	支給する（支給した）	コロナ禍、物価高もありベースアップも来期は考えないといけない。現状、人手不足を皆で補いながら頑張ってくれている。今の販売領域では今後、価格転嫁も限界に達する。新規の販売先、新製品生産に繋げていくためには経験ある人材が何より必要。アフターコロナへ巻き返しを期待するにも人の成長が第一である。若手だけでなくベテラン社員にも納得いく今の相場観での賞与は支給していきたい。
17	製造業	10～19人	支給する（支給した）	半導体不足による自動車の減産が続き3年目となり原資不足であるが、最低年2カ月分は支給すると決めていること。又、賞与は生活給の一部となっていることやモチベーションアップになる為苦しいが支給している。
18	製造業	10～19人	支給する（支給した）	社員にとって賞与も給料の一部なので、賞与は絶対に支給する。しかし業績が原資になるので、いかに数字を見える化して素早く対応するかが肝。
19	製造業	10～19人	支給する（支給した）	製造原価高騰により、利益は減少しているが、物価高騰で、一時金支払いなどのメディア報道も盛んで、賞与+αを加味しないとイケないのでは・・・と検討しています。
20	製造業	10～19人	支給する（支給した）	今年は物価上昇が大きく、ベースアップ(基本給)にするか賞与アップ(年収で調整)か検討中。
21	製造業	10～19人	支給する（支給した）	保険料等の天引きに満額を渡したい。
22	製造業	10～19人	支給する（支給した）	仕入価格高騰により、賞与資金の確保が大変である。
23	製造業	20～29人	支給する（支給した）	物価上昇分も反映したいが、物価上昇分だけ利益も削られるため、なかなか難しい。

Q15、賞与に関する意見

No	業種	正社員数	支給の有無	記述回答
24	製造業	20～29人	支給する（支給した）	自動車減産による売り上げの減少と資材確保による仕入れ増加により、現金が必要となっている。
25	製造業	20～29人	支給する（支給した）	経営状況が厳しくても、継続支給しなければならないと感じています。
26	製造業	30～49人	支給する（支給した）	7月12月の定時賞与に加え、5月と10月に業績に応じて、一時金を支給している。
27	製造業	30～49人	支給する（支給した）	業績は今一歩ですが、社員の生活への影響を考慮しています。
28	製造業	30～49人	支給する（支給した）	主原料の価格転嫁は行っているものの、副資材や光熱費の高騰、人件費の増加、社会保険料の負担増など、年間で数千万円のコストアップになっているが価格転嫁が進んでおらず、収益が非常に圧迫されている。この状況が続くと、来期以降の賞与の支払いが困難になる。
29	製造業	30～49人	支給する（支給した）	昨年よりも営業利益は下がっているが、これは社員の責任というよりは固定費（電力費や輸送費など）の上昇が大きな要因。様々な物価も高騰しているので利益は多少下がっても社員の頑張りに報いたいと考えている。しかし、若い社員はあまりその状況を把握しておらず、貯金もあまりしていない様子。個人の生涯における必要な資金など、お金の勉強会をした方が良いのかと思いつつある。これから更に激変期にくるような気がするので、そうなった時に「生活が成り立ちません」は無いようにしてほしいなあと切に願う。
30	製造業	30～49人	支給する（支給した）	原材料高や売上減少の中で賞与を出す原資が無い。かなり厳しい。
31	製造業	30～49人	支給する（支給した）	利益が減少してきており、賞与支払い余力が低下している。しかし、例年通りの金額を社員は期待している。
32	製造業	30～49人	支給する（支給した）	夏冬は給与連動式、決算賞与は業績連動式としているが、グループ内事業会社間の格差が大きくなるため、グループ経営上の課題としてとらえている。
33	製造業	50～99人	支給する（支給した）	原材料費の高騰を乗り越え、利益確保して社員に還元したい。
34	製造業	50～99人	支給する（支給した）	なぜ賞与を支払うのか、支払うことが出来るのかを伝えていかないといけないと思う。
35	製造業	50～99人	支給する（支給した）	支払い原資の減少が、今後も続きそうな雰囲気です。
36	製造業	50～99人	支給する（支給した）	中途採用のリクルートが活発に動き始めていると感じます。社員さんの引き止める一つ的手段として賞与+αで手だてを考えていますが厳しい状況です。
37	流通・商業	1～4人	支給する（支給した）	特需がなくなったので厳しい。それ以外にも需要の停滞感を強く感じます。
38	流通・商業	1～4人	支給しない	10月に新規事業を始め、その為に社員を雇用しました。12月はまだ雇用し始めたばかりということで賞与は見送りますが、次回以降はそういうわけにいかないと思っています。
39	流通・商業	1～4人	支給しない	決算賞与（9月）のみ支給。
40	流通・商業	1～4人	検討中または未定	幾らが適正か知りたい。
41	流通・商業	5～9人	支給する（支給した）	給料は生活保障。賞与は業績によって決めるご褒美。
42	流通・商業	5～9人	検討中または未定	賞与は、半年間の業績（企業業績・個人業績）にての支給が大原則と思いますが、社員には、生活費の大部分との想い込みがあり、支給するに越したことはが、借入をしてまでも支給することが「どうでしょうか」と思います。
43	流通・商業	10～19人	支給する（支給した）	夏と年末の賞与は生活給化しているので、本来の成果の配分は決算賞与でしている。
44	流通・商業	10～19人	支給する（支給した）	パートに関しては、最低賃金が上がったものの、扶養控除内で働きたい人がほとんどのため就業時間を減らすしか方法がなく結果として深刻な人手不足になっている。
45	流通・商業	10～19人	支給する（支給した）	業績で賞与が変動するのはおかしいです。社員は毎日仕事を一生懸命しているので、業績が悪いのは経営者に問題あるので、それを社員の賞与額に影響させるのは、卑怯です。日本人の感覚では、賞与も含めて年収なので、賞与は保証すべきだと思います。そもそも、業績が悪くならないように同友会で学んでいるのみ、賞与を減らすことは、恥ずべきことだと経営者は認識すべきです。コロナの影響だといって、賞与を払えない会社は、会社をたたむべきです。社員が不幸になるだけです。
46	流通・商業	10～19人	支給する（支給した）	昨年より、業績はややダウンしていますが、昨今の物価高による家庭の食生活や暮らしを考慮して昨年並みにする予定です。
47	流通・商業	20～29人	支給する（支給した）	労働賃金を上げることは政策として大事なことです、それよりも補助金ではなく消費税減税のような具体的に景気をよくする政策を支給実施してほしい。
48	流通・商業	30～49人	支給する（支給した）	なるべく月給を高くできるように努力をしている。
49	流通・商業	30～49人	支給する（支給した）	多く払えるときはいいのだが・・・、ボーナスをローンに組み込んでいる社員も多くて。

Q15、賞与に関する意見

No	業種	正社員数	支給の有無	記述回答
50	流通・商業	50～99人	支給する（支給した）	業績がよければ増額するが、利益率の改善が見込めない中では、思うように増額ができない。インフレに対応するために、最低限5%は増やす必要があるが、なかなか厳しいものがある。
51	流通・商業	50～99人	支給する（支給した）	昨今の物価上昇を勘案して、全社員（パート・嘱託含む）に対して特別賞与（インフレ手当）を6万円支給予定。
52	サービス業	1～4人	支給する（支給した）	年収で評価しないと意味がない。基本給が安い会社や基本給、諸手当が高い会社があり、自社では同業種の平均年収を超えているが賞与はそれほど大きくない。また、定年再雇用などや短時間労働正社員も考慮してアンケートを作成すべきと思う。
53	サービス業	1～4人	支給する（支給した）	パートは給与の制限があるので、あげたくてもあげられない。賃金上がったのだから、103万しぼりや130万しぼりを増やしてほしい。仕事はあるのに、働かせられないと周りからもよく聞く。同友会からも働きかけてもらいたい。
54	サービス業	1～4人	支給する（支給した）	赤字だったが、生活必需品を購入しなければならないので、支給した。
55	サービス業	1～4人	支給する（支給した）	賞与は支給をすべく経営を考えているが、粗利向上も課題である。当事務所はあまり関係ないが、多くの企業で、大企業からの受注額は上げることが難しく、結果的に下請けにしわ寄せがくる。この状況を変えるべく国に動いてもらいたい。
56	サービス業	1～4人	支給する（支給した）	サービス業の区分をもう少し細分化して集計結果を出してほしい。土業、介護・福祉・医療、IT、その他　くらいで出してもらえると大変参考になります。
57	サービス業	1～4人	支給しない	支給したいけれど、経営状況が悪くてできない。
58	サービス業	1～4人	支給しない	利益が出れば出したいが、現状では難しい。
59	サービス業	1～4人	検討中または未定	年に一度決算賞与という形で会社に残った利益を社員に分配しています。
60	サービス業	1～4人	検討中または未定	コロナ以降赤字経営が続いており、支給できる状況にない。
61	サービス業	5～9人	支給する（支給した）	前年より多いのは、「インフレ手当」分を加算しているため。
62	サービス業	5～9人	支給する（支給した）	今年も社員さんに賞与を支給出来てよかったです。
63	サービス業	5～9人	支給する（支給した）	正規雇用社員には考課表を使い個々に査定します。平均支給額は1ヵ月半位の金額を支給しています。社員の生活を考えると2ヵ月程度の給与を支給したいです。パートの賞与支給はフルタイム勤務者のみ支給する。業績次第ですが、今後は短時間勤務者にも支給を検討しています。
64	サービス業	5～9人	支給しない	固定給を業界水準より多く支給し、毎月の歩合給の割合も多い為、賞与は与えていない。
65	サービス業	10～19人	支給する（支給した）	物価高騰のおり、少しでも多く賞与を支払いたいが、業績が伴わないため、思うような支払額に届かないのが辛い。
66	サービス業	10～19人	支給する（支給した）	他社に人材が流出しないよう、賞与は支給していきたい。していきます。
67	サービス業	10～19人	支給する（支給した）	企業規模に応じて、賞与も予算化していきたいがまだできていないので、早い段階で給与の〇か月分としていきたい。
68	サービス業	10～19人	支給しない	インセンティブ制を引いており、至急していません
69	サービス業	20～29人	支給しない	年に一度の決算ボーナスとしたので、利益が出ている時には払います、査定が年4回ありますので評価はそこで行っています
70	サービス業	30～49人	支給する（支給した）	基本給倍率以外の要素、実績をどのように反映させるかが課題。一律の倍率だけでは、従業員満足は得られないと思う。
71	サービス業	50～99人	支給する（支給した）	業績が回復向上しない中での賃上げ賞与支給は大変苦しい。
72	サービス業	50～99人	支給する（支給した）	固定給の増額が望まれるところですが、先行きが不安なため　決算賞与として従業員の生活補助として支給している
73	サービス業	100人以上	支給する（支給した）	夏季冬季の定期賞与（総合職夏1カ月・冬1カ月：一般職：夏1.5カ月・冬2カ月）に加え、決算期（9月）に業績賞与あり。